

国立市しょうがいしゃ計画策定に係る実態調査
報 告 書

令和6年3月
国 立 市

目次

I	調査の概要および回答者の属性	- 5 -
1	調査の概要	- 5 -
	(1) 調査の目的	- 5 -
	(2) 調査の設計	- 5 -
	(3) 回収結果	- 5 -
	(4) この報告書の留意点	- 5 -
2	回答者の属性	- 6 -
	(1) 続柄	- 6 -
	(2) 居住地	- 6 -
	(3) 年齢	- 7 -
	(4) 性別	- 7 -
	(5) 職業	- 8 -
	(6) 居住年数	- 8 -
	(7) 住居形態	- 9 -
	(8) 同居家族の有無	- 9 -
	(9) しょうがいの状況	- 10 -
II	調査結果	- 11 -
	(1) しょうがい福祉サービスの利用状況	- 11 -
	(2) 福祉のサービスの利用について	- 12 -
	(3) あなたの暮らしている地域の生活環境	- 14 -
	(4) 幸福度について	- 18 -
	(5) 幸福度を考える際に重視したこと	- 19 -
	(6) 満足度について	- 20 -
	(7) 今後どのように暮らしたいか	- 21 -
	(8) 災害時の対策について	- 22 -
	(9) 現在の就労状況について	- 23 -
	(10) 就労日数・就労時間について	- 24 -
	(11) 働くために必要なことについて	- 26 -
	(12) 労働意欲について	- 27 -
	(13) 働いていない理由について	- 28 -
	(14) 通園・通学について	- 29 -
	(15) 通園・通学をするうえで困っていることについて	- 30 -
	(16) フルインクルーシブ教育を進めるために必要な事について	- 31 -
	(17) 参加した余暇活動や社会参加について	- 32 -
	(18) 余暇活動や社会参加をするうえで、特に妨げになっていることについて	- 33 -
	(19) 地域で安心して暮らしていくために重要な事について	- 34 -
	(20) 生活環境について	- 35 -
	(21) 福祉関連の情報の入手方法について	- 37 -

(22) 国立市から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることについて	- 38 -
(23) 国立市以外から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることについて	- 38 -
(24) 不当な差別を受けた経験について	- 39 -
(25) どのような時に差別を受けたと感じるかについて	- 40 -
(26) 差別に関する相談経験について	- 41 -
(27) 相談場所について	- 42 -
Ⅲ 調査票	- 43 -

I 調査の概要および回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「国立市しょうがいしゃ計画」策定の基礎資料とするため、無作為に抽出された市民にアンケートを送付し、調査を行うものである。

(2) 調査の設計

- ①調査区域 国立市全域
- ②調査対象 国立市在住の満18歳以上の男女
- ③標本数 1,500人
- ④標本抽出方法 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送による回収
- ⑥調査期間 令和5年9月21日（木）～令和5年10月31日（火）
- ⑦調査実施機関 株式会社ケー・デー・シー

(3) 回収結果

- ①配布数 1,500部
- ②有効回収数 774件
- ③有効回収率 51.6%

(4) この報告書の留意点

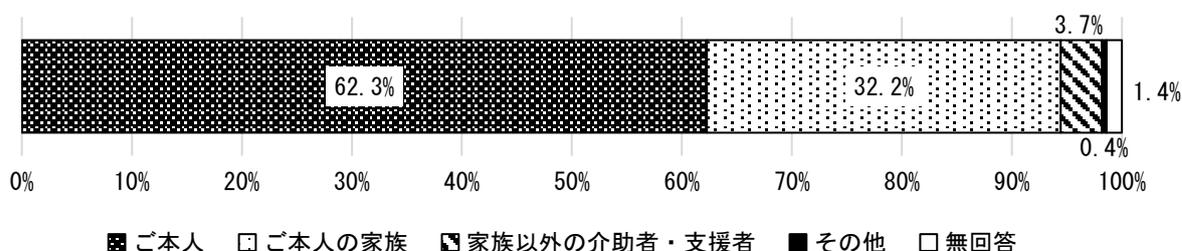
- ①図表中の「n」は、各質問の回答者数を示す。
- ②回答の比率（％）は、nを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つの回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ③選択肢の中から複数の回答を選んでもよい質問では、各質問文の末尾に「(複数選択可)」の文言を示した。これらの質問は、すべての選択肢の比率を合計すると通常100%を超える。
- ④文字数が多い一部の選択肢については、結果を説明する文章中で、かっこ内の記述を省いて簡略化して示した場合がある。なお、図表中では、簡略化せずすべての文字を示した。

2 回答者の属性

(1) 続柄

回答者の続柄は、「ご本人」が62.3%、「ご本人の家族」が32.2%、「家族以外の介助者・支援者」が3.7%となっている。

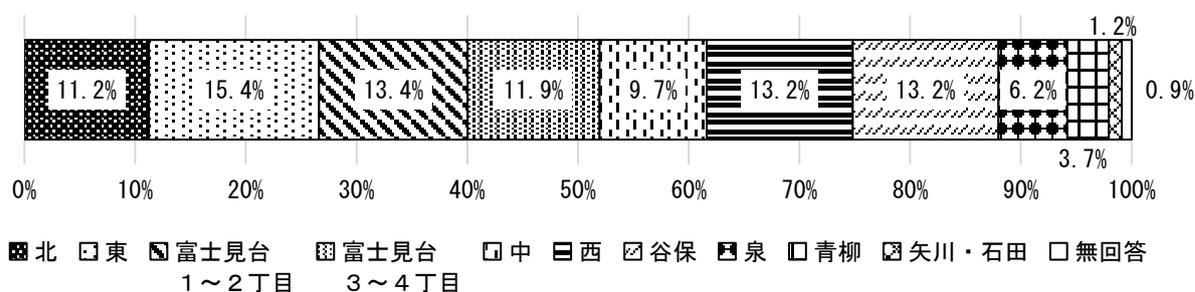
F 1 ご記入される方はどなたですか。
あなた（封筒の宛名の方）との続柄をお答えください。



(2) 居住地

回答者の居住地は、「東」が15.4%で最も多く、次いで「富士見台1～2丁目」(13.4%)、「西」(13.2%)、「谷保」(13.2%)、「富士見台3～4丁目」(11.9%)、「北」(11.2%)、「中」(9.7%)、「泉」(6.2%)、「青柳」(3.7%)、「矢川・石田」(1.2%)の順となっている。

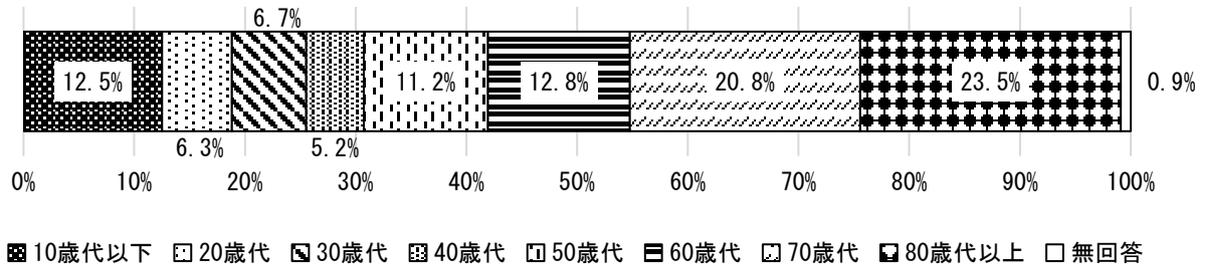
F 2 あなたのお住まいの地区についておたずねします。



(3) 年齢

回答者の年齢は、「80歳代以上」が23.5%で最も多く、次いで「70歳代」(20.8%)、「60歳代」(12.8%)、「10歳代以下」(12.5%)、「50歳代」(11.2%)、「30歳代」(6.7%)、「20歳代」(6.3%)、「40歳代」(5.2%)の順となっている。

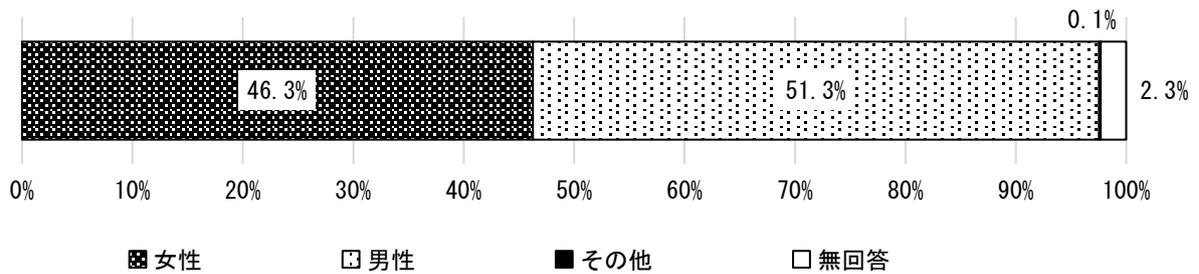
F 3 あなたの年齢についておたずねします。



(4) 性別

回答者の性別は、「女性」が46.3%、「男性」が51.3%、「その他」が0.1%となっている。

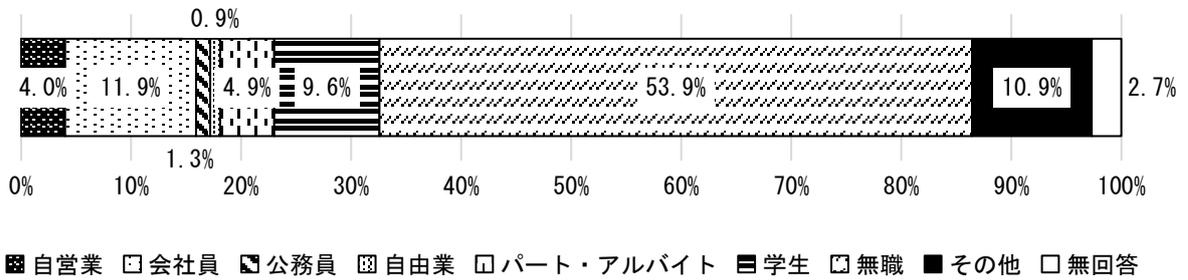
F 4 あなたの性別についておたずねします。



(5) 職業

回答者の職業は、「無職」が53.9%で最も多く、次いで「会社員」(11.9%)、「その他」(10.9%)の順となっている。

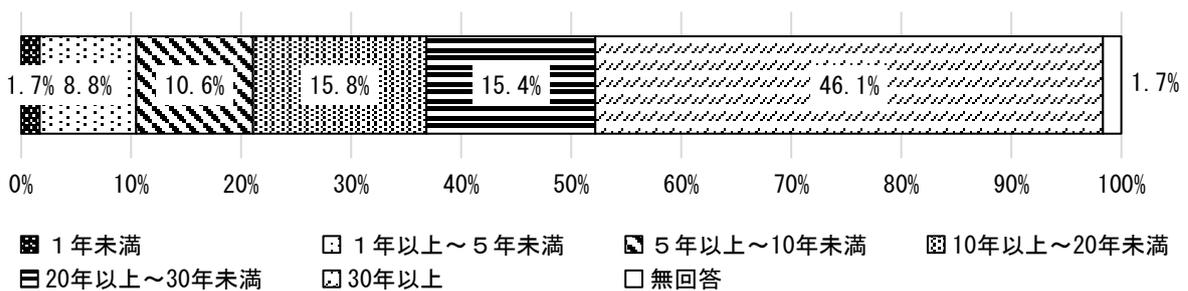
F 5 あなたのご職業をおたずねします。



(6) 居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」が46.1%で最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(15.8%)、「20年以上～30年未満」(15.4%)の順となっている。

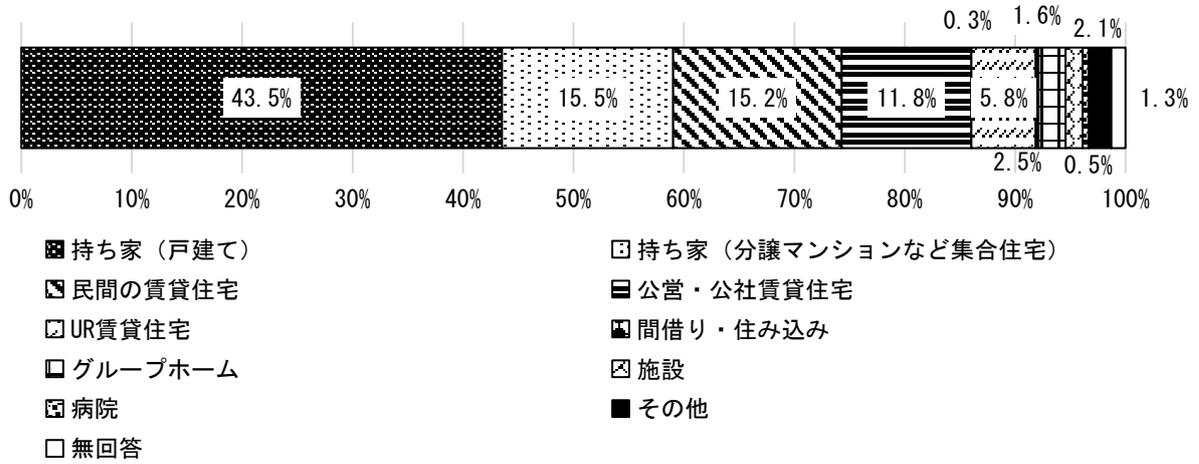
F 6 あなたは、国立市に何年くらい住んでいますか？



(7) 住居形態

回答者の住居形態は、「持ち家（戸建て）」が43.5%で最も多く、次いで「持ち家（分譲マンションなど集合住宅）」（15.5%）、「民間の賃貸住宅」（15.2%）の順となっている。

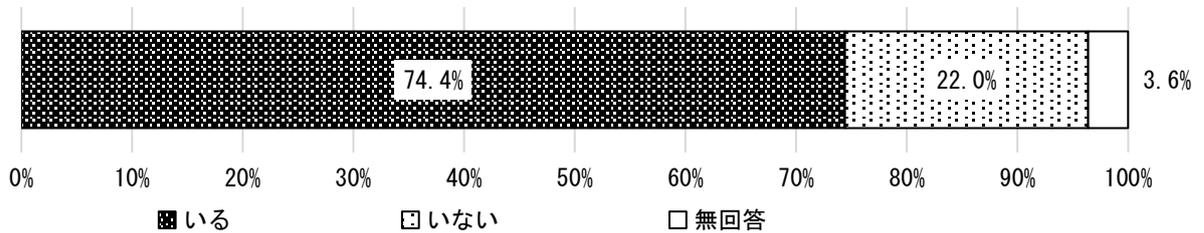
F 7 あなたの現在の生活の場所の形態をおたずねします。



(8) 同居家族の有無

回答者の同居家族は、「いる」が74.4%で最も多く、次いで「いない」（22.0%）の順となっている。

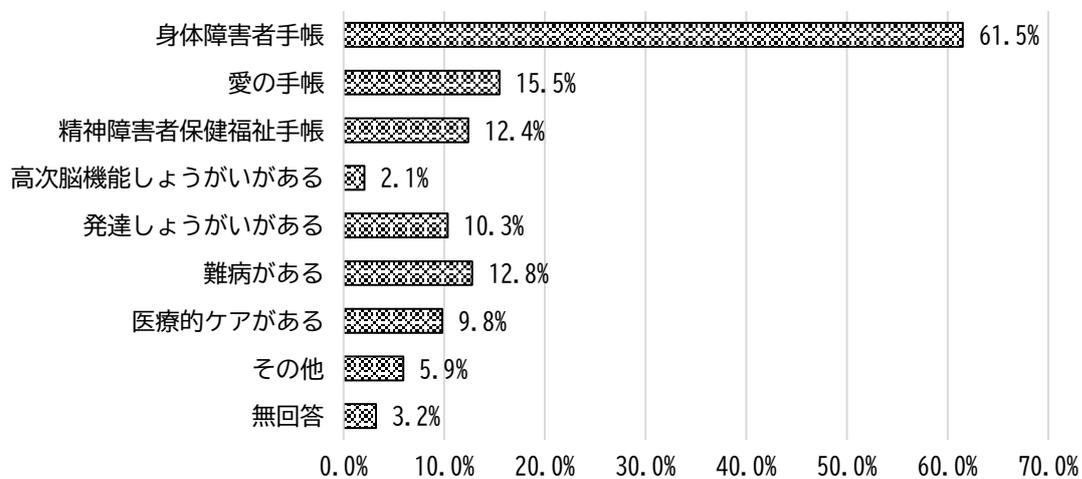
F 8 同居している方はいますか？



(9) しょうがいの状況

回答者のしょうがいの状況は、「身体障害者手帳」が61.5%で最も多く、次いで「愛の手帳」(15.5%)、「難病がある」(12.8%)の順となっている。

F9 しょうがいの状況



II 調査結果

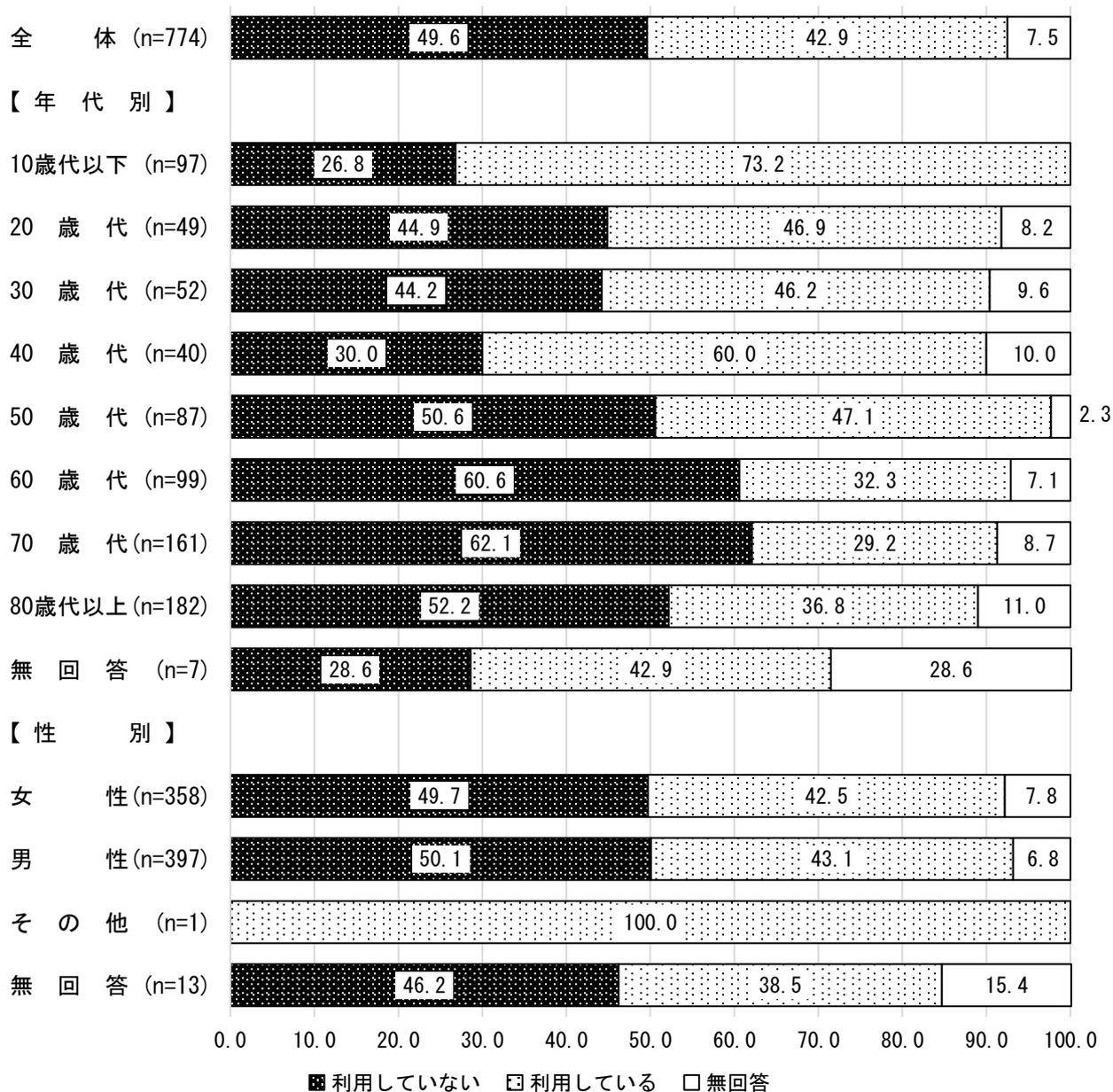
(1) しょうがい福祉サービスの利用状況

しょうがい福祉のサービスの利用状況は、「利用していない」(49.6%)が5割で、4割超の「利用している」(42.9%)より6.7ポイント高い。

年代別でみると、「利用していない」は、70歳代(62.1%)が6割超で最も高く、60歳代(60.6%)がほぼ6割、80歳代以上(52.2%)が5割超で続いている。

性別でみると、「利用していない」は、男性(50.1%)、女性(49.7%)ともに5割で、男女間でほとんど差はみられない。

問1 あなたはしょうがい福祉のサービスを利用していますか？

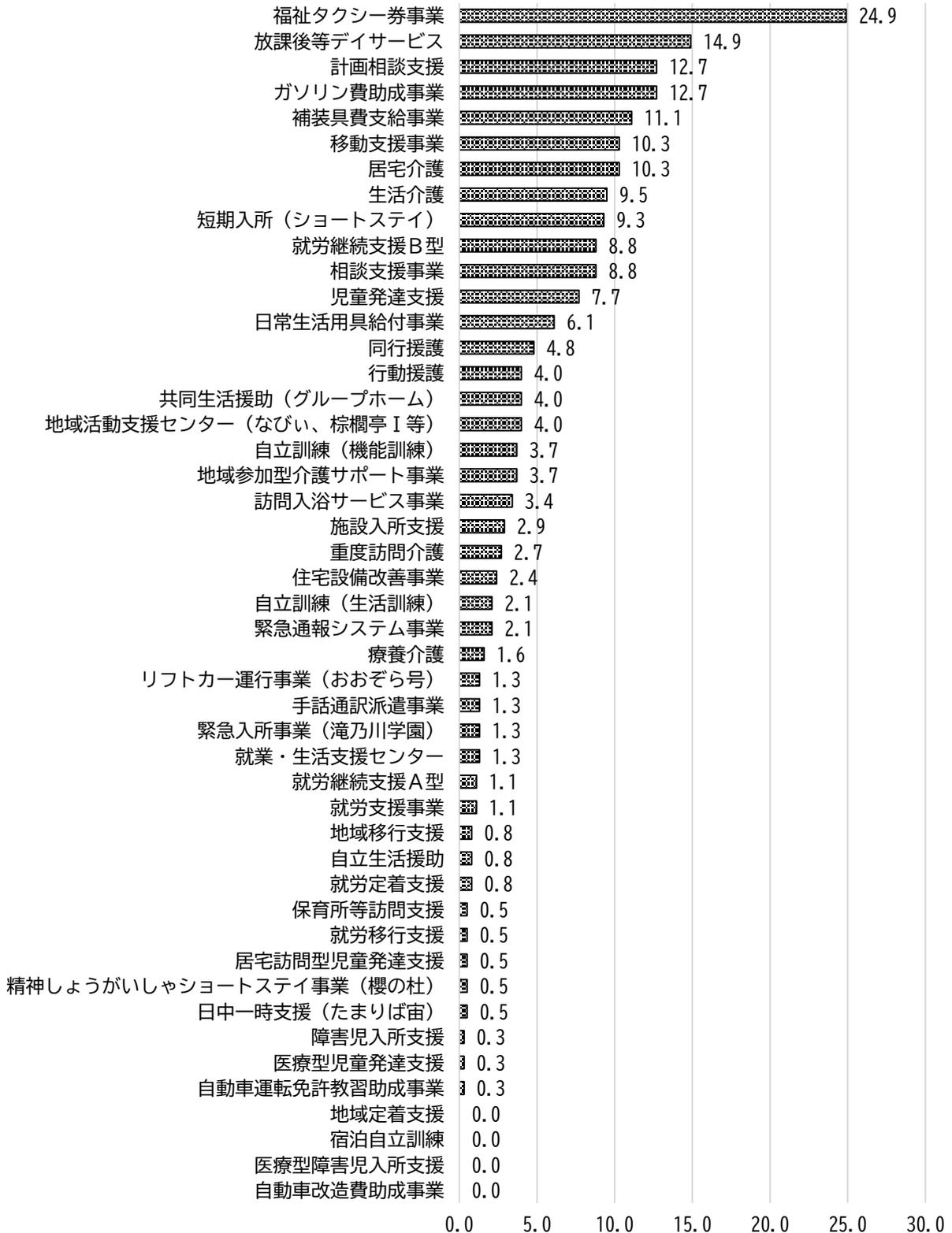


(2) 福祉のサービスの利用について

(2) - 1 利用しているしょうがい福祉のサービスについて

回答者の利用しているしょうがい福祉のサービスは、「福祉タクシー券事業」が24.9%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」(14.9%)、「計画相談支援」(12.7%)の順となっている。

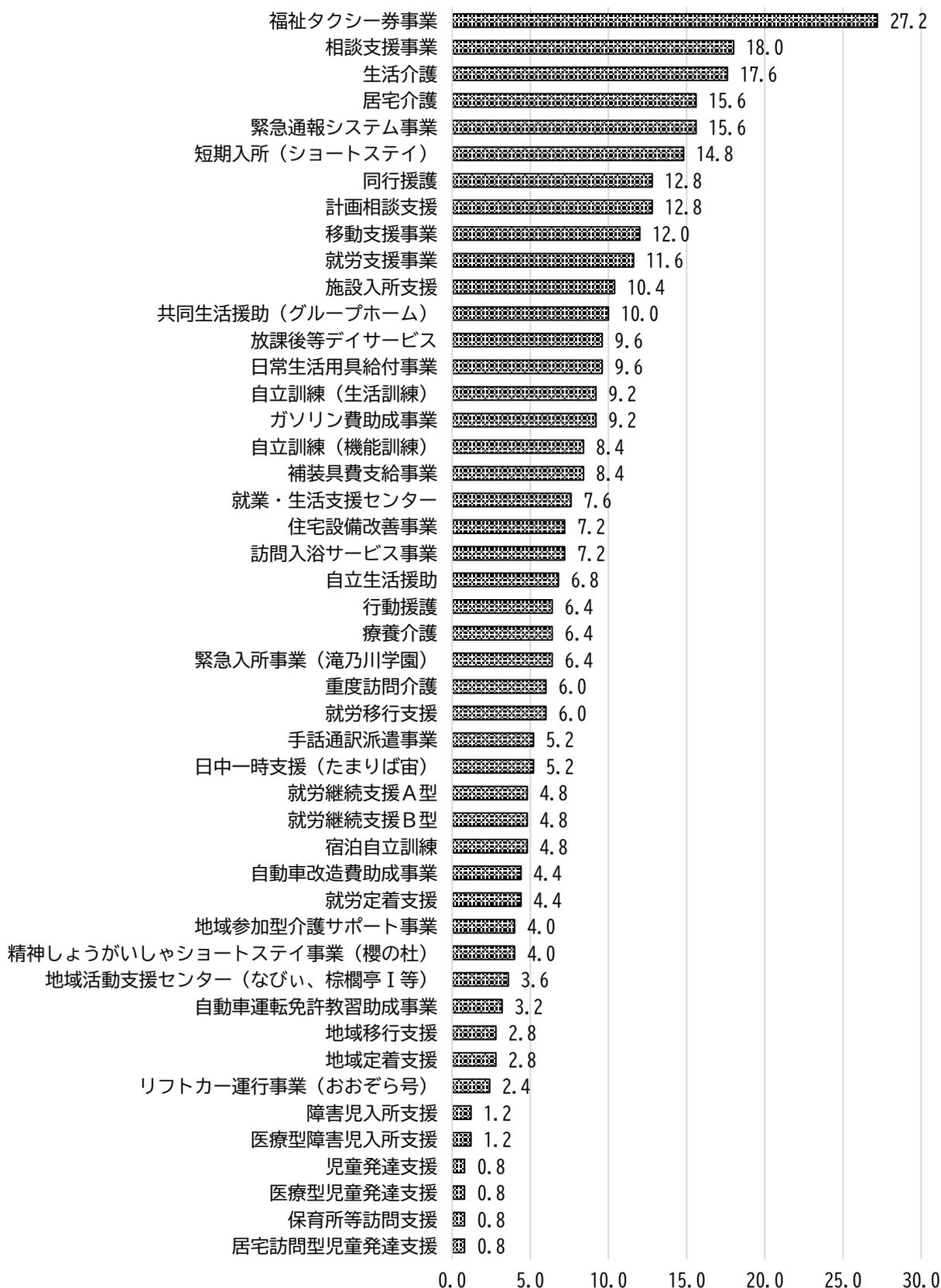
問2 あなたはどのようなしょうがい福祉のサービスを利用していますか？



(2) - 2 今後利用したいしょうがい福祉のサービス

回答者の今後利用したいしょうがい福祉のサービスは、「福祉タクシー券事業」が27.2%で最も多く、次いで「相談支援事業」(18.0%)、「生活介護」(17.6%)の順となっている。

問2 今後利用したいしょうがい福祉のサービスはありますか？



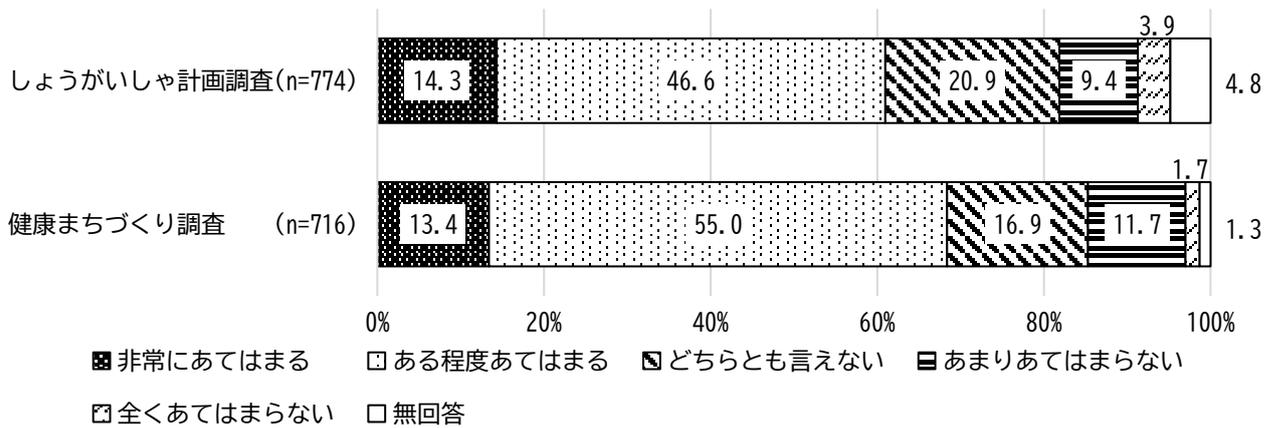
(3) あなたの暮らしている地域の生活環境

(3) - 1 医療機関について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は60.9%となっている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は7.5ポイント下回っている。

あなたの暮らしている地域は、医療機関が充実していると思いますか

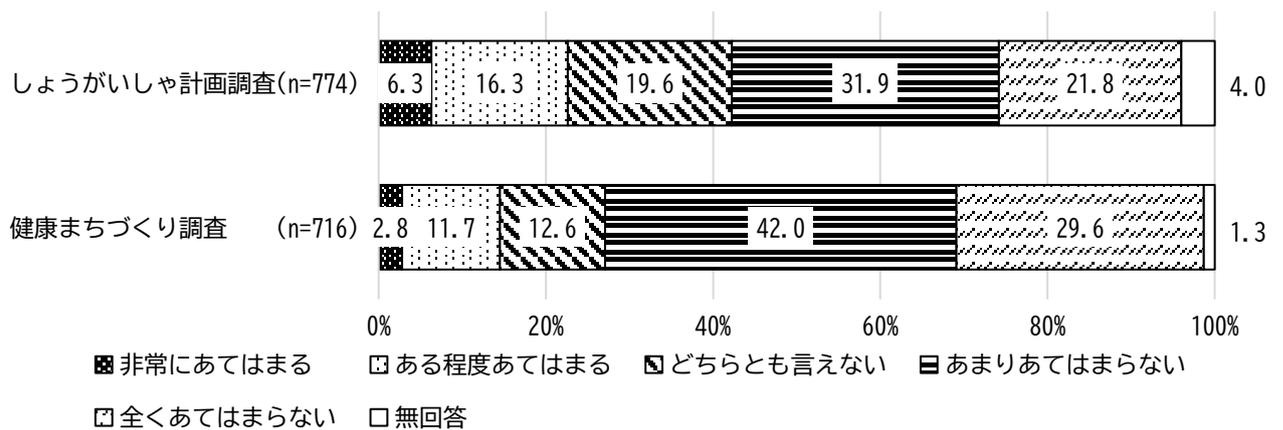


(3) - 2 日常の買い物について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は22.6%となっている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は8.1ポイント上回っている。

あなたの暮らしている地域は、日常の買い物に不便はありますか



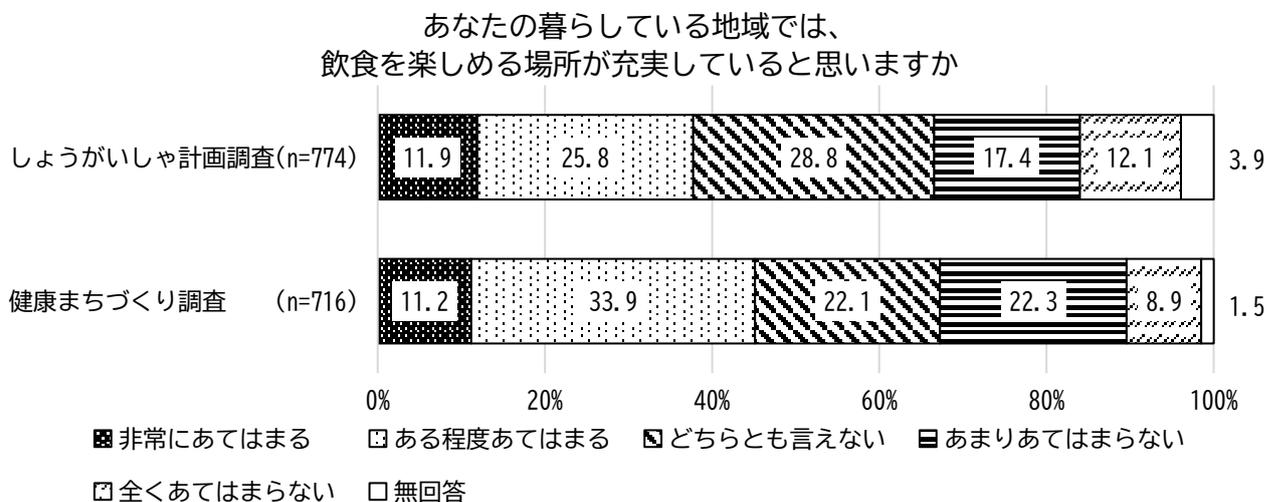
※設問の文言に違いがございますので、各調査を参照する際はご注意ください。

健康まちづくり調査	しょうがいしゃ計画調査
私の暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない。 ※「不便がない場合」⇒「あてはまる」	あなたの暮らしている地域は、日常の買い物に不便はありますか。 ※「不便がある場合」⇒「あてはまる」

(3) - 3 飲食を楽しめる場所について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は37.7%となっている。

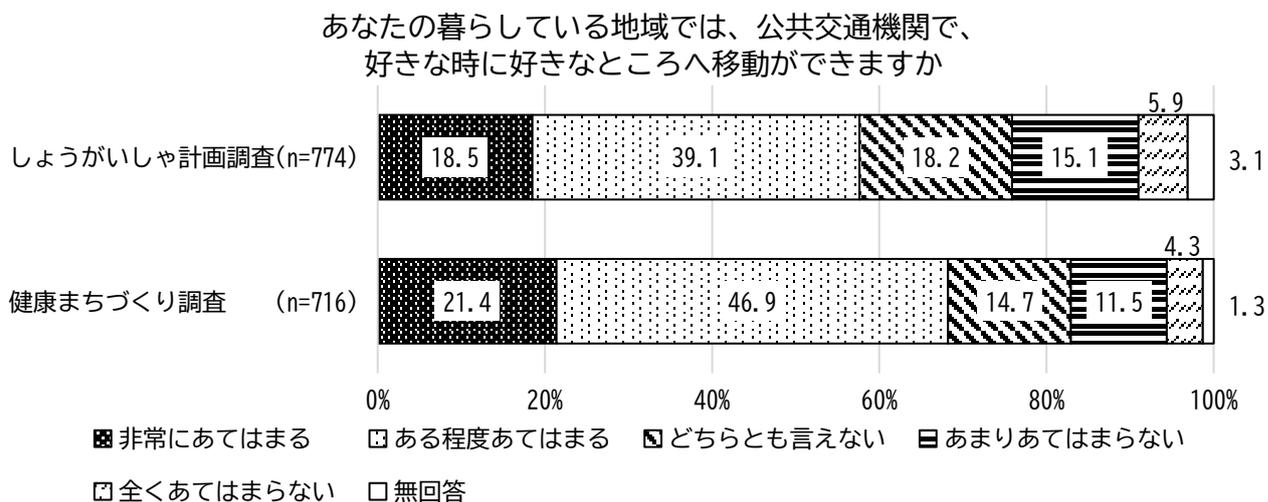
健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は7.4ポイント下回っている。



(3) - 4 公共交通機関について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は57.6%となっている。

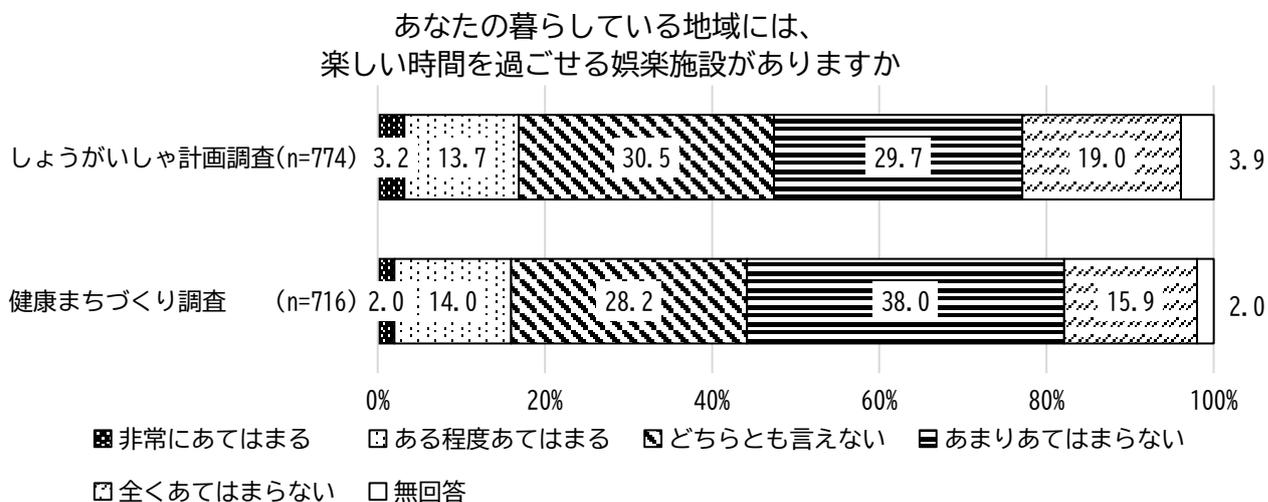
健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は10.7ポイント下回っている。



(3) - 5 娯楽施設について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は16.9%となっている。

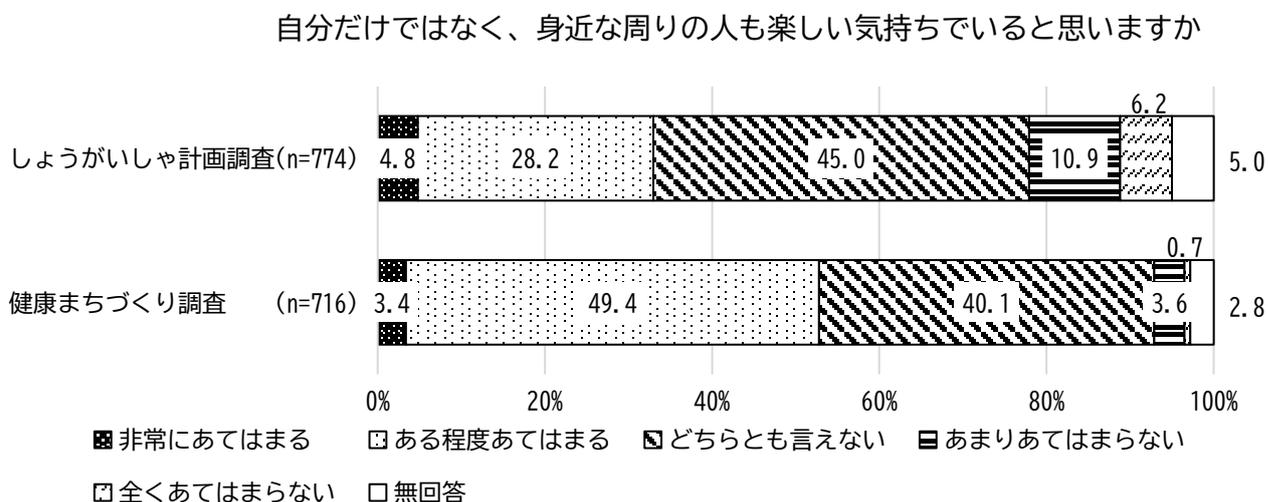
健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は0.9ポイント上回っている。



(3) - 6 身近な周りの人も楽しい気持ちについて

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は33.0%となっている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は19.8ポイント下回っている。

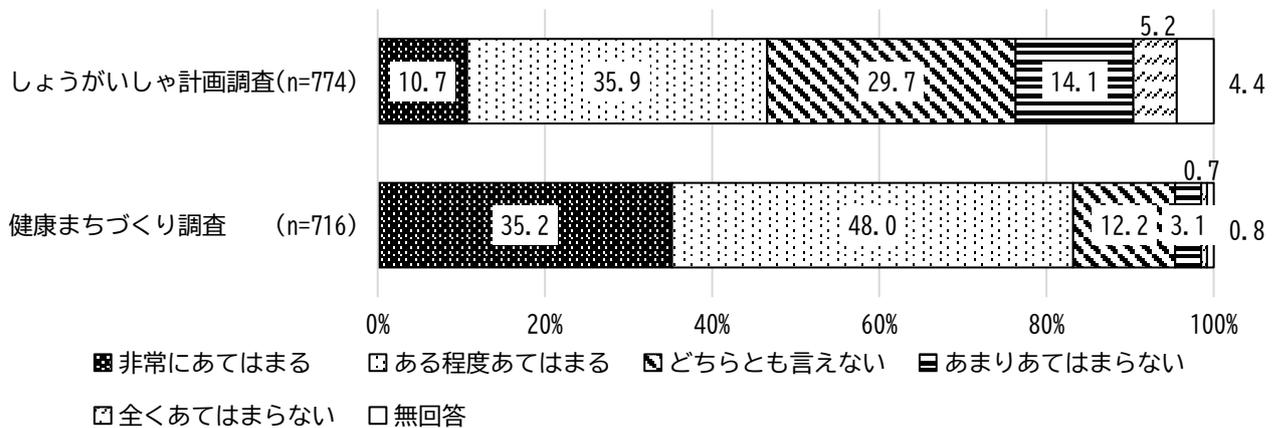


(3) - 7 居場所について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は46.6%となっている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は36.6ポイント下回っている。

あなたの住んでいるところには、心地よい居場所がありますか

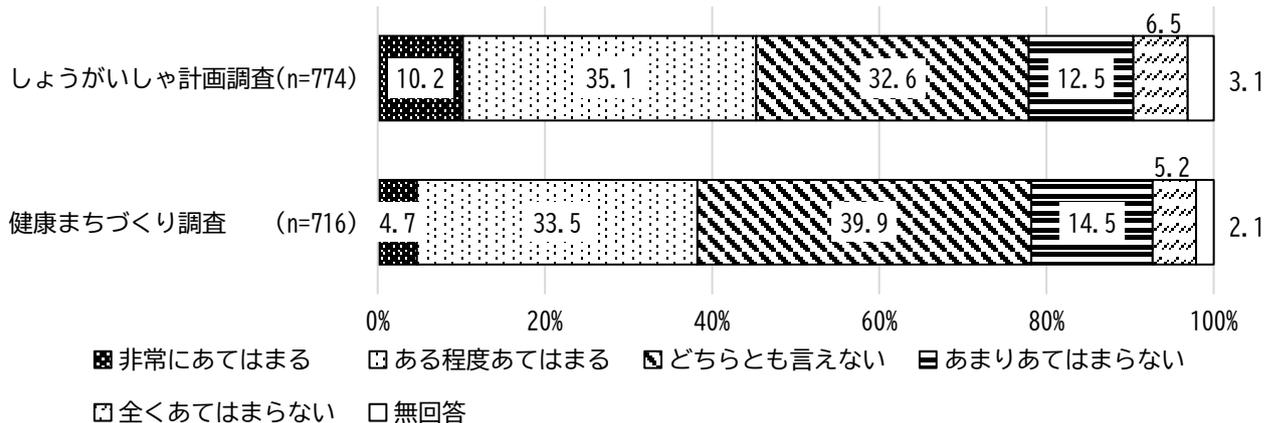


(3) - 8 居場所について

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』は45.3%となっている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、『あてはまる』は7.1ポイント上回っている。

あなたの暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよいと思いますか

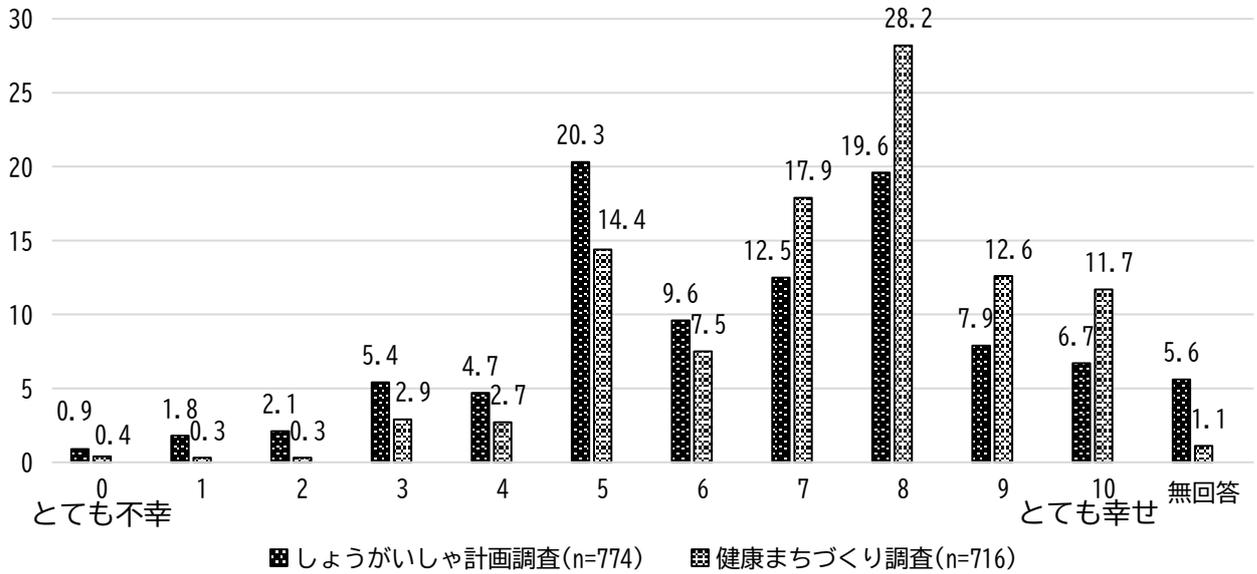


(4) 幸福度について

どの程度幸せと感じていますかは、5点（20.3%）が2割で最も高く、8点（19.6%）が2割、7点（12.5%）が1割を超えて続いている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、幸福であると感じている人の割合は、比較的少ないことがうかがえる。

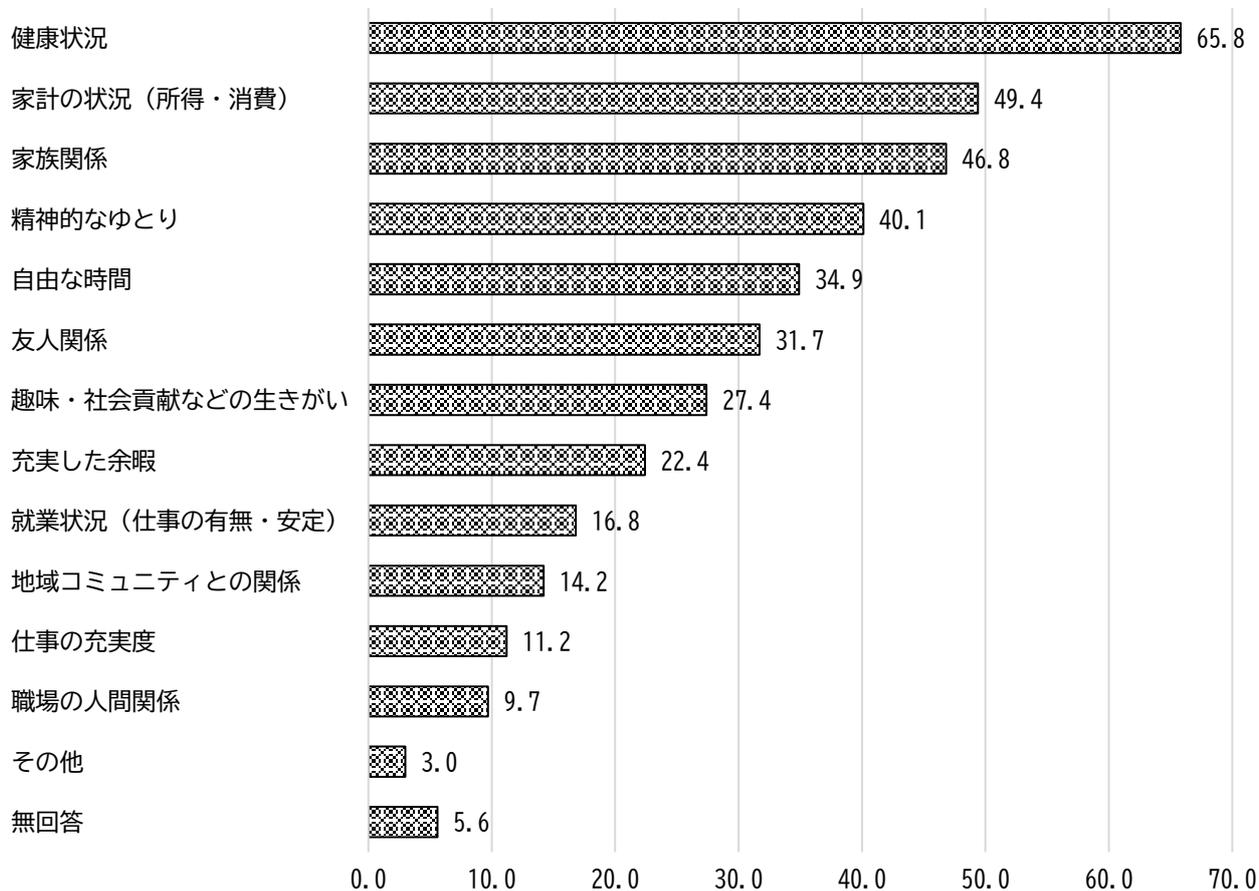
問4 現在、あなたはどの程度幸せと感じていますか？



(5) 幸福度を考える際に重視したこと

幸福度を考える際に重要視したことは、健康状況（65.8%）が6割半ばで最も高く、家計の状況（所得・消費）（49.4%）がほぼ5割、家族関係（46.8%）が5割近くで続いている。

問5 幸福度を考える際に重要視したことを選んでください。

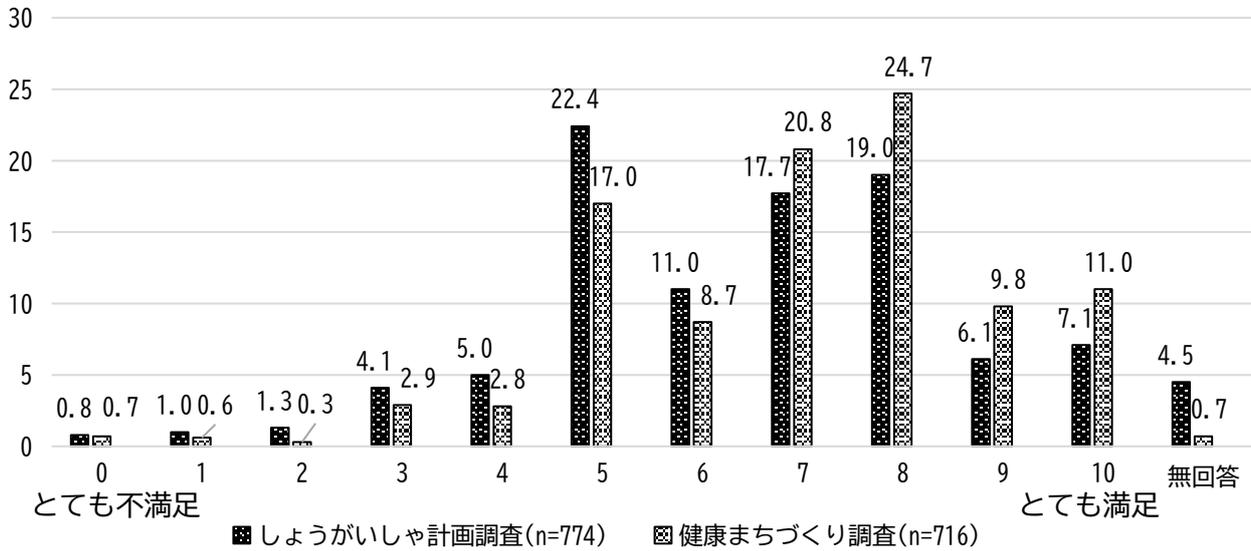


(6) 満足度について

生活している地域の暮らしの満足度は、5点（22.4%）が2割を超え最も高く、8点（19.0%）がほぼ2割、7点（17.7%）が2割近くで続いている。

健康まちづくり調査の結果と比較すると、満足であると感じている人の割合は比較的少ないことがうかがえる。

問6 現在、あなたの生活している地域の暮らしにどの程度満足していますか？



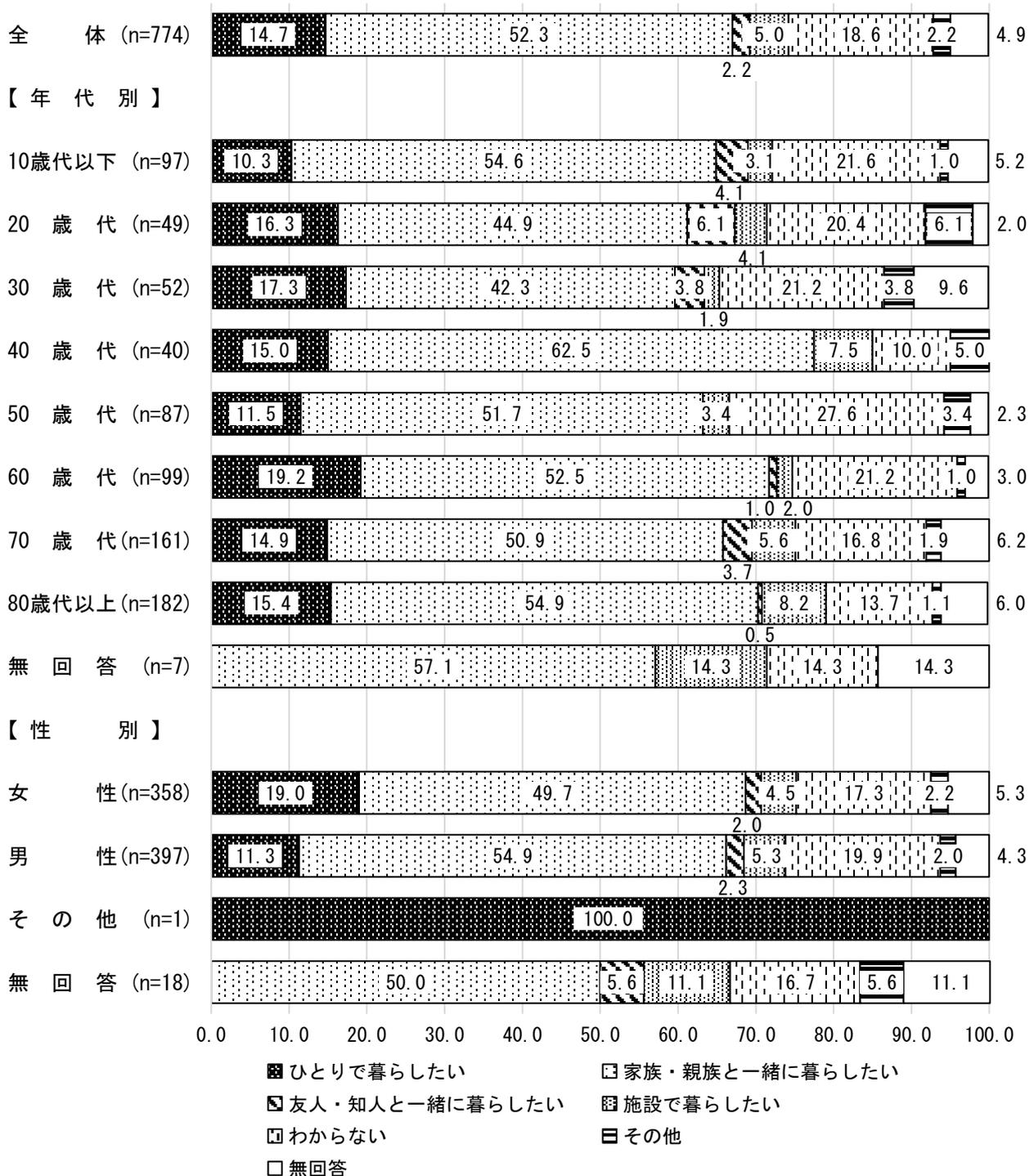
(7) 今後どのように暮らしたいか

今後どのように暮らしたいかは、「家族・親族と一緒に暮らしたい」(52.3%)が5割超で最も高く、「わからない」(18.6%)が2割近く、「ひとりで暮らしたい」(14.7%)が1割半ばで続いている。

性別でみると、女性では「家族・親族と一緒に暮らしたい」(49.7%)が5割で最も高く、「ひとりで暮らしたい」(19.0%)がほぼ2割、「わからない」(17.3%)が2割近くで続いている。

男性では、「家族・親族と一緒に暮らしたい」(54.9%)が5割半ばで最も高く、「わからない」(19.9%)が2割、「ひとりで暮らしたい」(11.3%)が1割超で続いている。

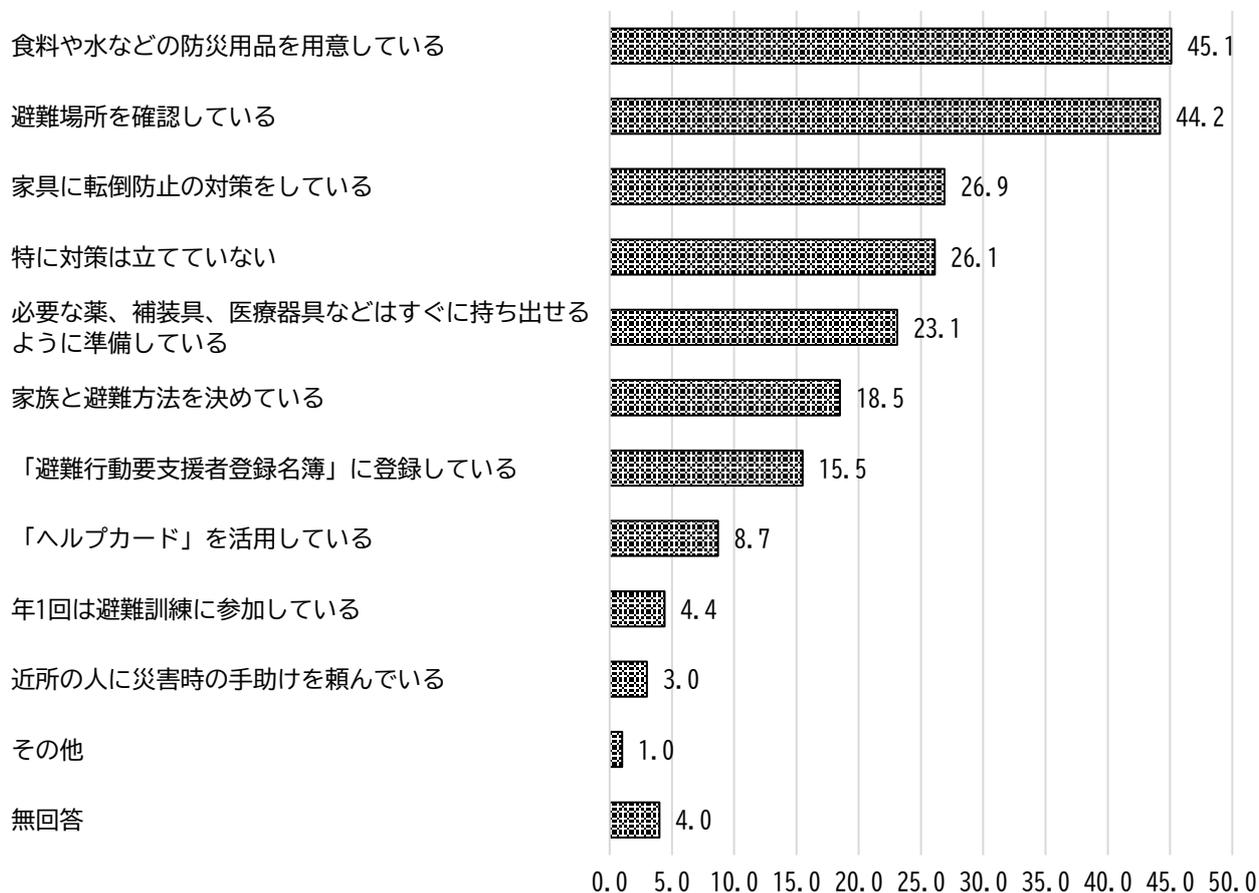
問7 あなたは今後どのように暮らしたいですか。



(8) 災害時の対策について

災害時の対策は、「食料や水などの防災用品を用意している」(45.1%)が4割半ばで最も高く、「避難場所を確認している」(44.2%)が4割半ば、「家具に転倒防止の対策をしている」(26.9%)が3割近くで続いている。

問8 あなたは災害時の対策をどのように立てていますか。



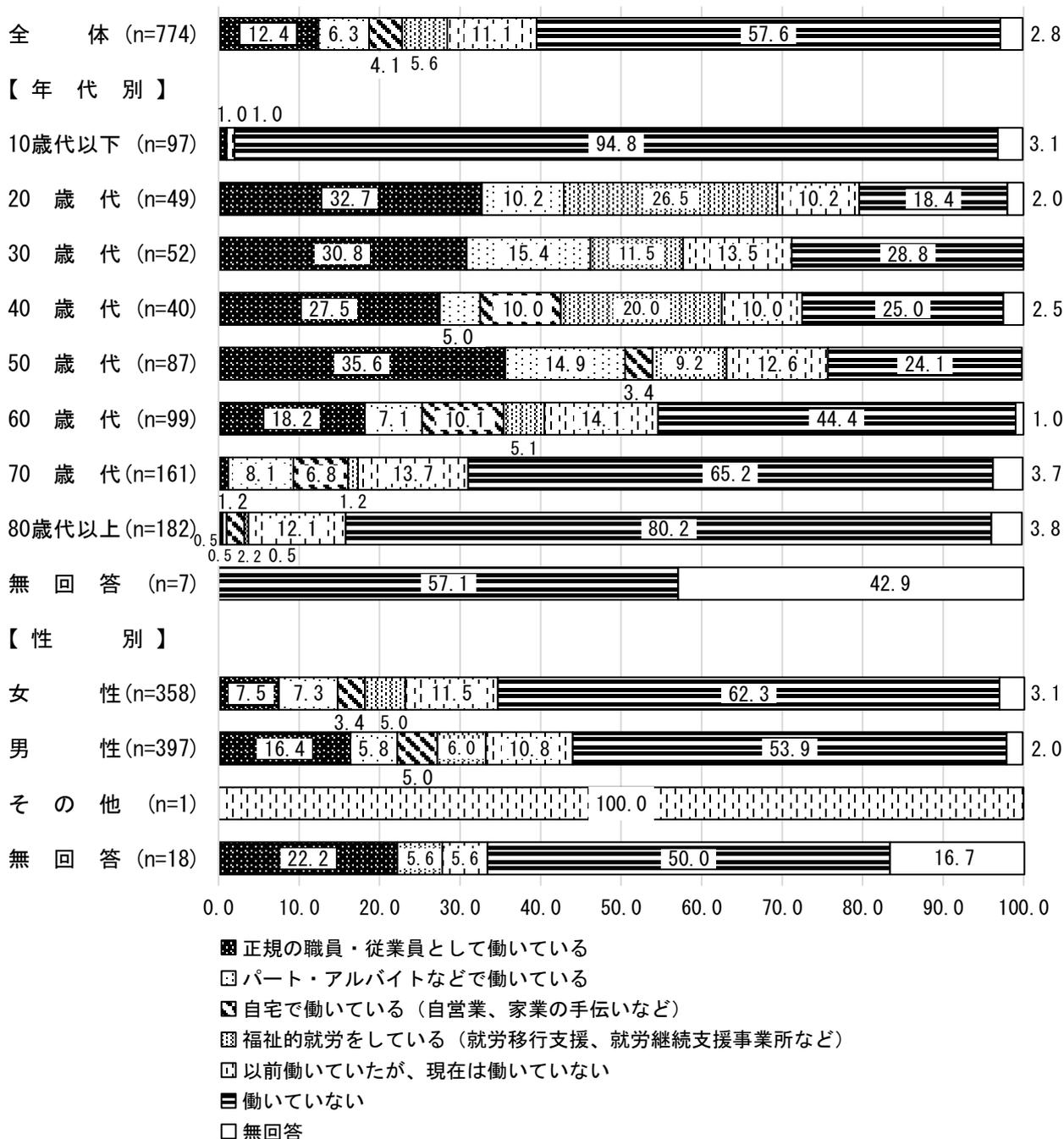
(9) 現在の就労状況について

現在働いているかは、「働いていない」(57.6%)が6割近くで最も高く、「正規の職員・従業員として働いている」(12.4%)が1割超、「以前働いていたが、現在は働いていない」(11.1%)が1割超で続いている。

性別で見ると、女性では「働いていない」(62.3%)が6割超で最も高く、「以前働いていたが、現在は働いていない」(11.5%)が1割超、「正規の職員・従業員として働いている」(7.5%)が1割近くで続いている。

男性では、「働いていない」(53.9%)が5割超で最も高く、「正規の職員・従業員として働いている」(16.4%)が1割半ば、「以前働いていたが、現在は働いていない」(10.8%)がほぼ1割で続いている。

問9 あなたは現在働いていますか。



(10) 就労日数・就労時間について

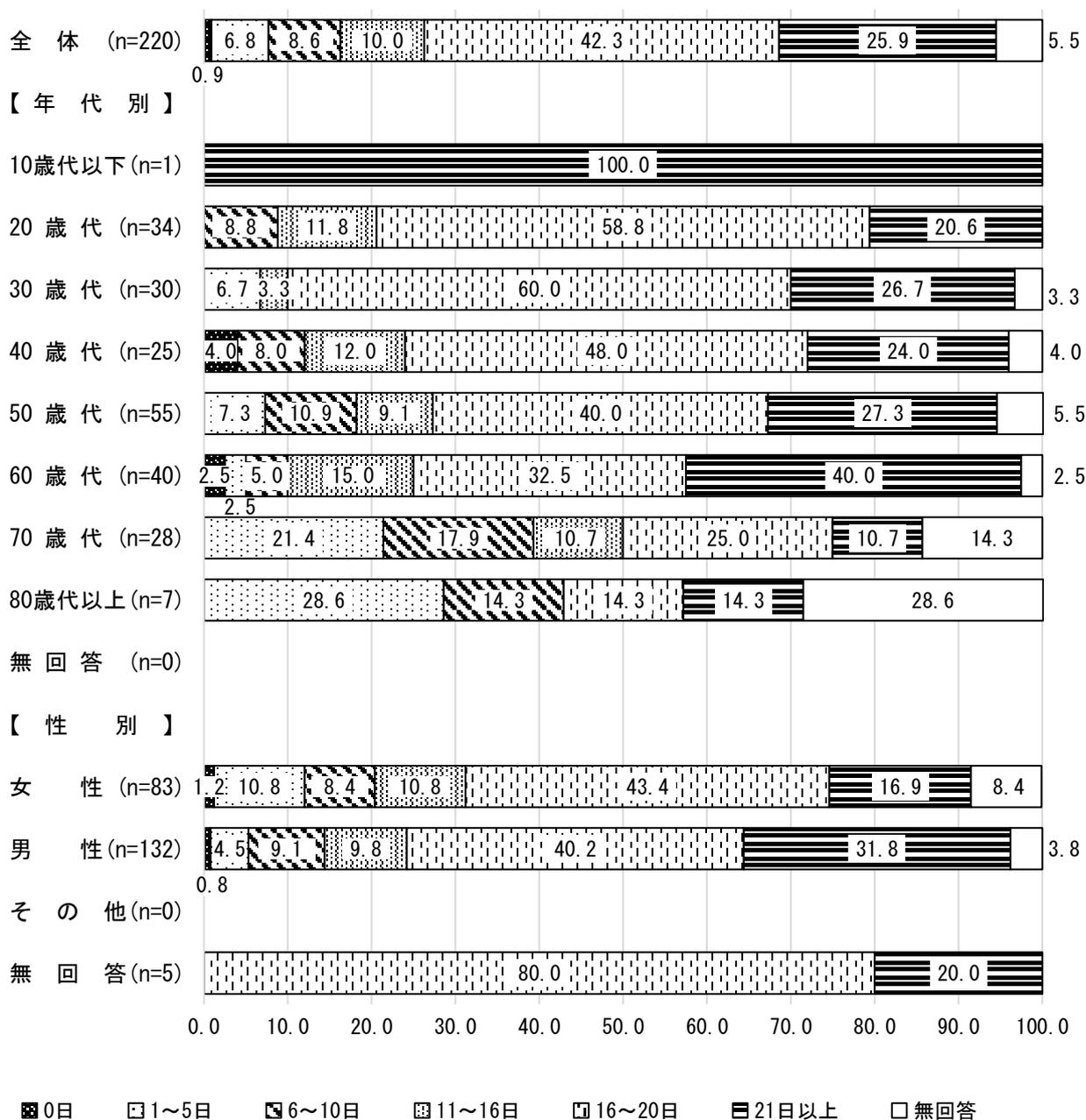
(10) - 1 最近1カ月の間に働いた日数について

最近1カ月の間に働いた日数については、「16～20日」が42.3%で最も多く、次いで「21日以上」(25.9%)、「11～16日」(10.0%)の順となっている。

性別で見ると女性では16～20日(43.4%)が4割超えで最も高く、21日以上(16.9%)が2割近く、11～16日(10.8%)がほぼ1割で続いている。

男性では16～20日(40.2%)が4割で最も高く、21日以上(31.8%)が3割超え、11～16日(9.8%)が1割で続いている。

問10 最近1ヶ月の間に働いた日数



(10) - 2 最近1ヵ月の間に働いた1日当たりの就業時間について

最近1ヵ月の間に働いた1日当たりの終業時間については、「7時間以上、8時間未満」と「8時間以上」を合わせた『7時間以上』が50.9%で最も多く、次いで「6時間以上、7時間未満」(14.5%)、「5時間以上、6時間未満」(10.5%)の順となっている。

性別で見ると、女性では『7時間以上』(44.6%)が4割半ばで最も高く、「6時間以上、7時間未満」(15.7%)が1割半ば、「5時間以上、6時間未満」(12.0%)が1割超えで続いている。

男性では『7時間以上』(53.8%)が5割超え、「6時間以上、7時間未満」(13.6%)が1割超え、「5時間以上、6時間未満」(9.8%)が1割で続いている。

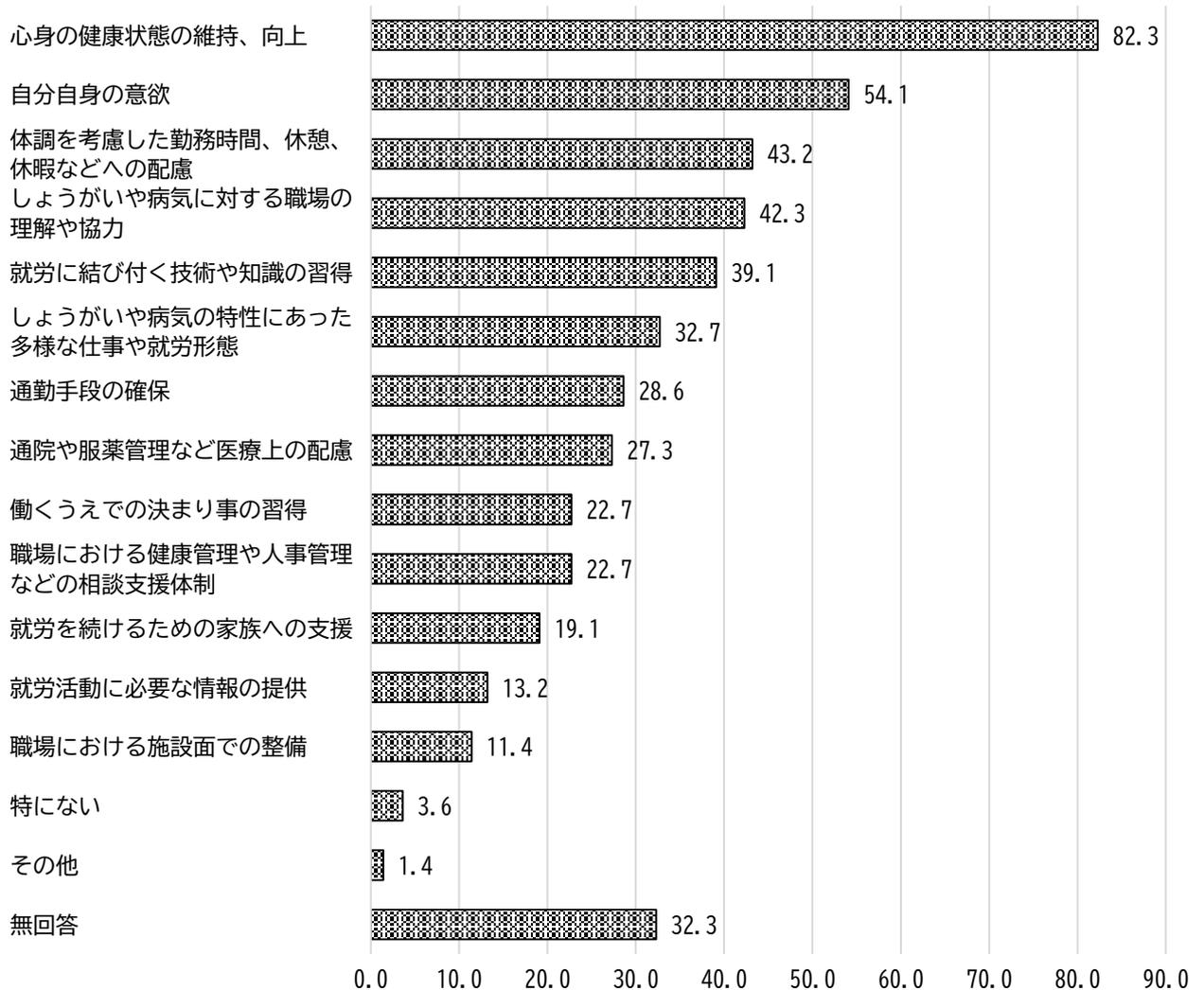
問10 最近1ヶ月の間に働いた日数



(11) 働くために必要なことについて

働くために必要なことは、「心身の健康状態の維持、向上」(82.3%)が8割超で最も高く、「自分自身の意欲」(54.1%)が5割半ば、「体調を考慮した勤務時間、休憩、休暇などへの配慮」(43.2%)が4割超で続いている。

問11 働くために必要なことは何ですか？



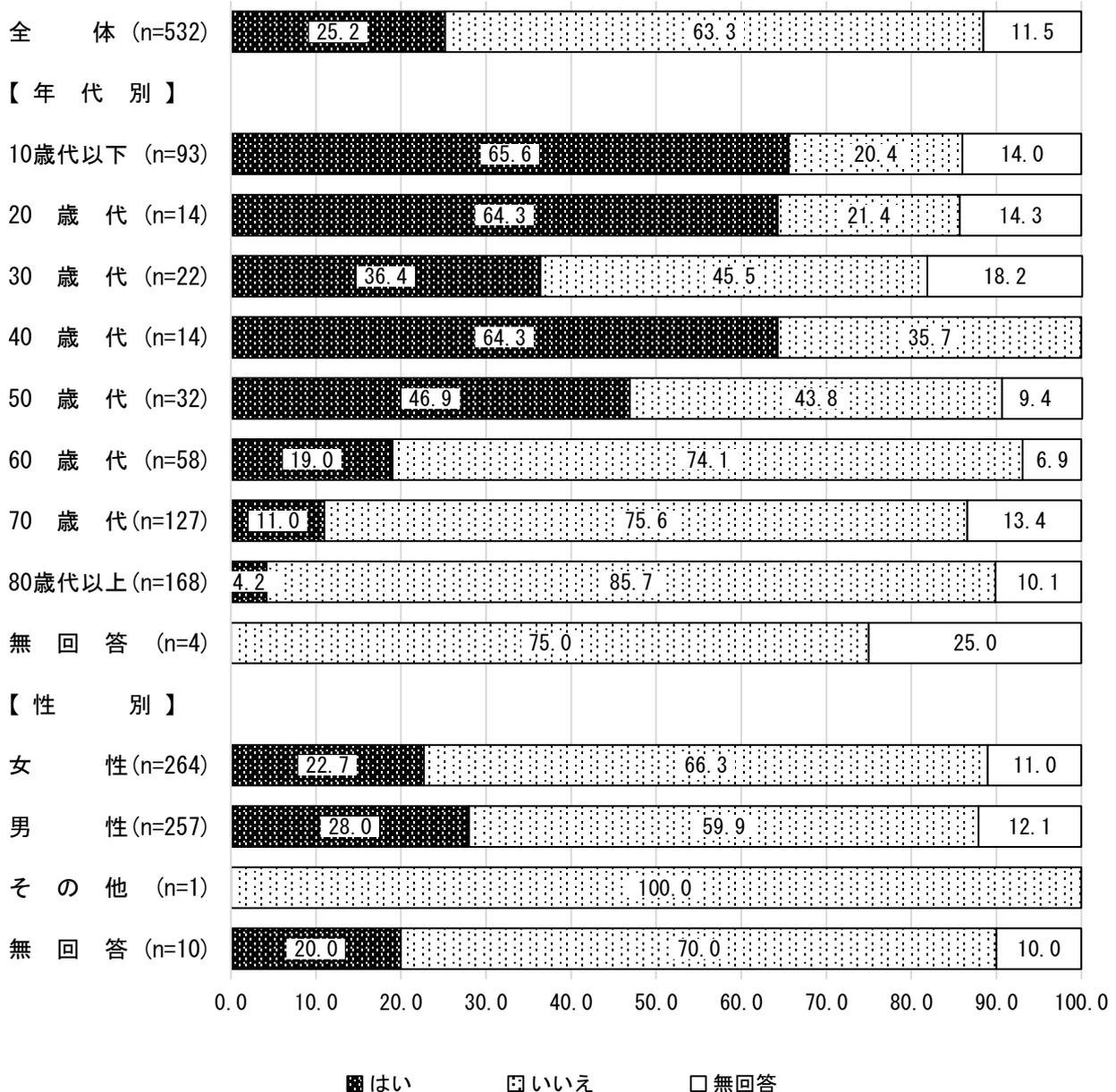
(12) 労働意欲について

今後働きたいと思っているかは、「いいえ」(63.3%)が6割超で、2割半ばの「はい」(25.2%)より38.1ポイント高い。

年代別でみると、「はい」は、10歳代以下(65.6%)が6割半ばで最も高く、20歳代(64.3%)が6割半ば、40歳代(64.3%)が6割半ばで続いている。

性別にみると、「はい」は、男性(28.0%)が3割近くで、2割超の女性(22.7%)より5.3ポイント高い。

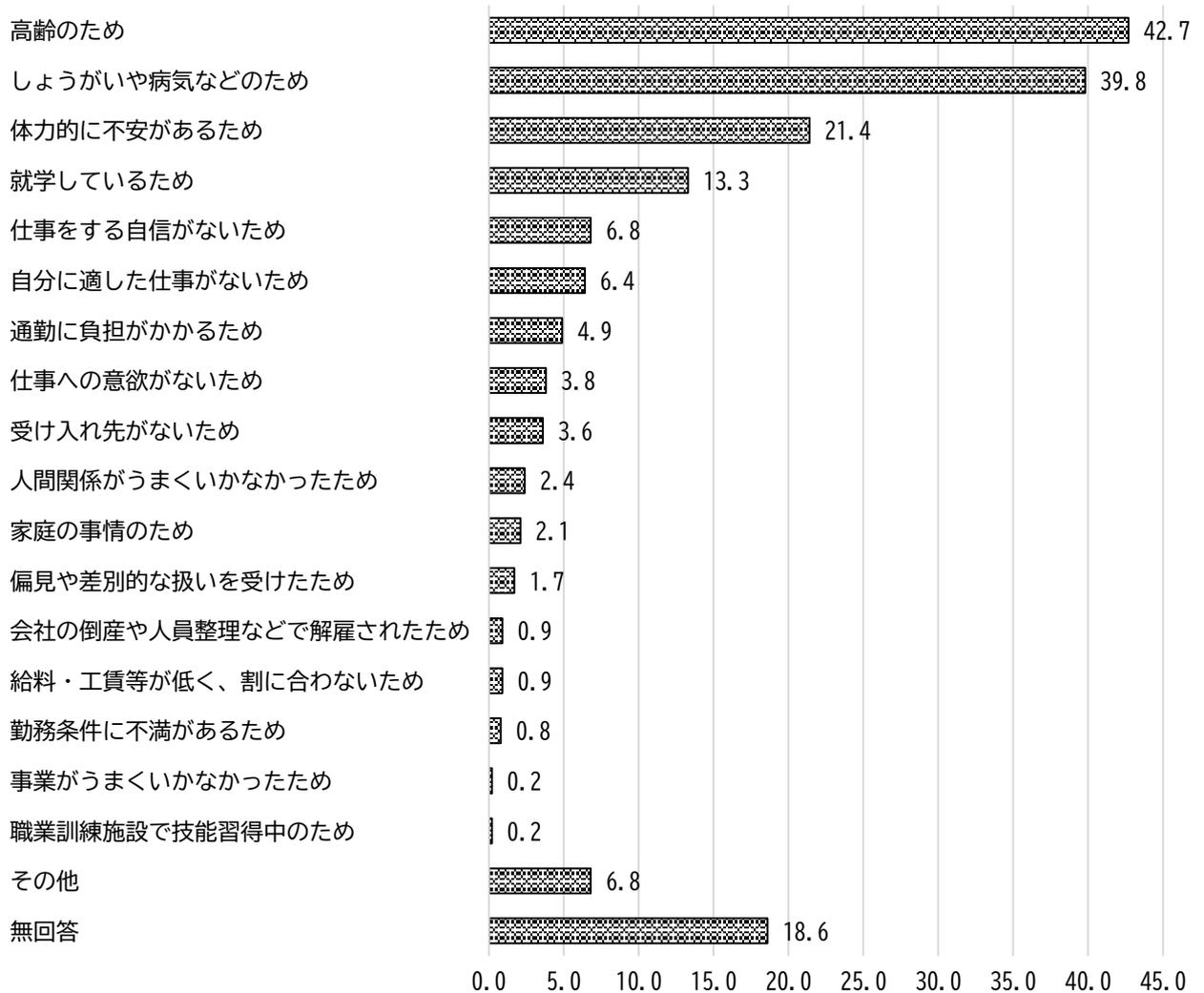
問12 あなたは今後働きたいと思っていますか。



(13) 働いていない理由について

現在、働いていない理由は、「高齢のため」(42.7%)が4割超で最も高く、「しょうがいや病気などのため」(39.8%)が4割、「体力的に不安があるため」(21.4%)が2割超で続いている。

問13 現在、働いていない理由をお聞かせください。



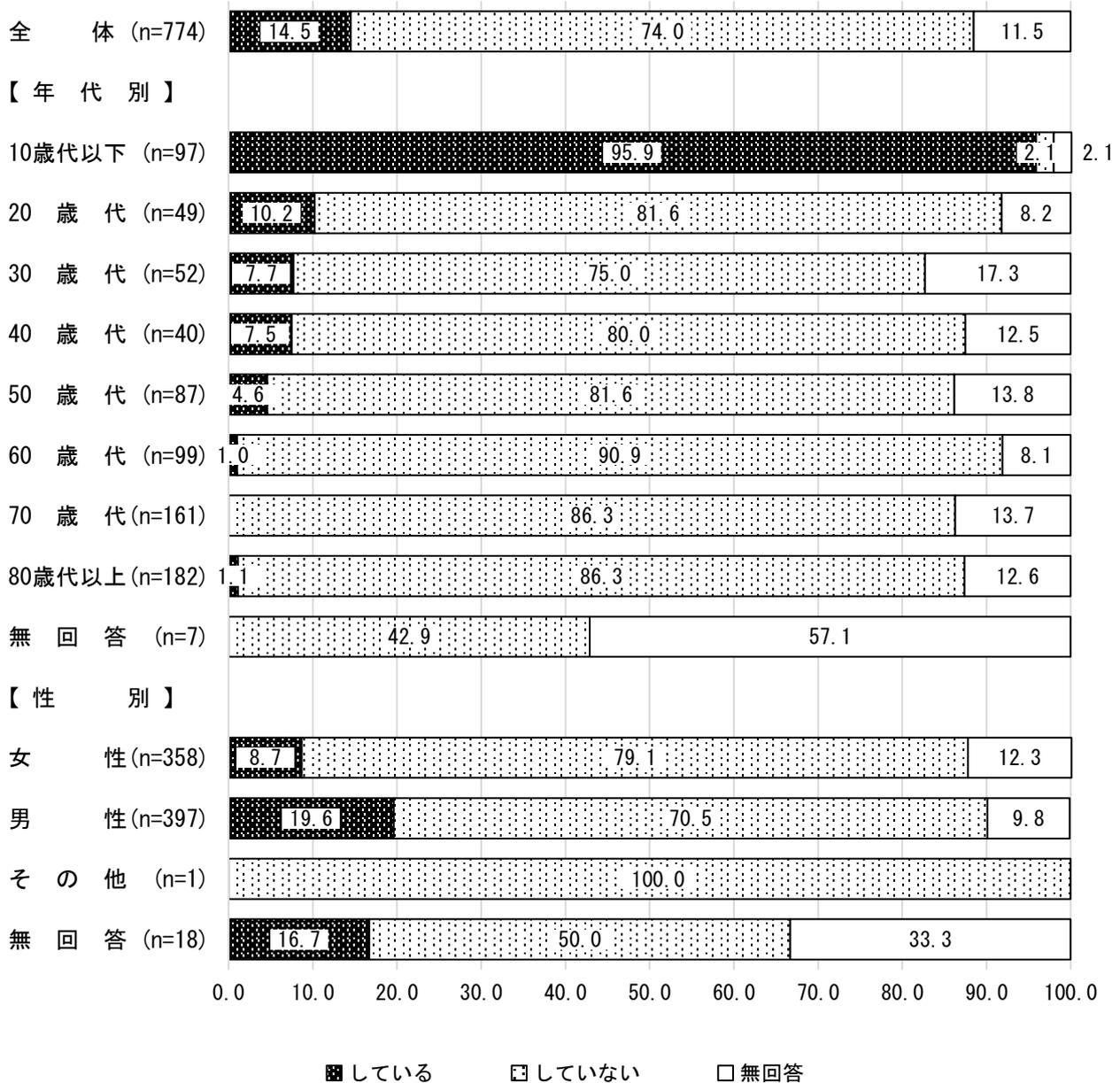
(14) 通園・通学について

通園・通学をしているかは、「していない」(74%)が7割半ばで、1割半ばの「している」(14.5%)より59.5ポイント高い。

年代別でみると、「している」は、10歳代以下(95.9%)が9割半ばで最も高く、20歳代(10.2%)が1割、30歳代(7.7%)が1割近くで続いている。

性別にみると、「している」は、男性(19.6%)が2割で、1割近くの女性(8.7%)より10.9ポイント高い。

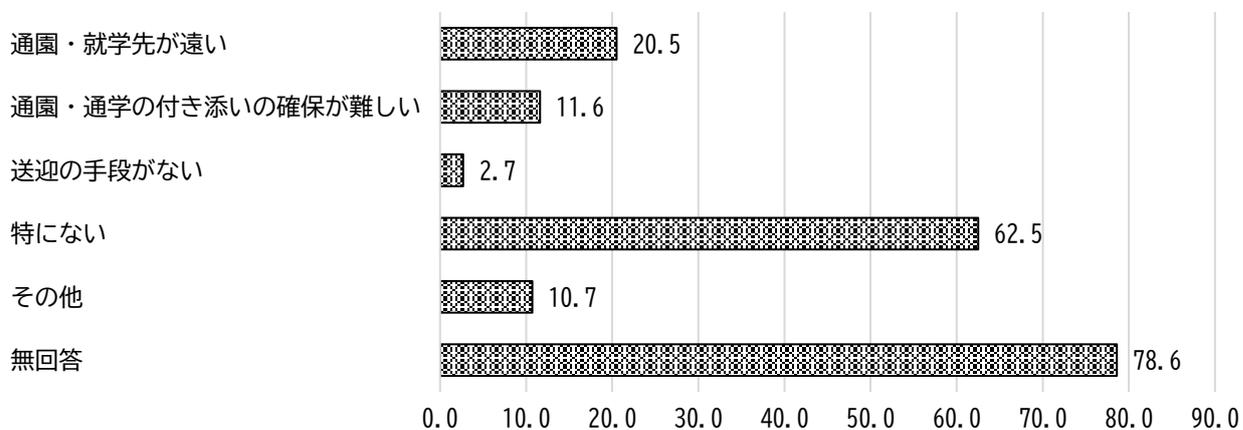
問14 あなたは現在通園・通学をしていますか？



(15) 通園・通学をするうえで困っていることについて

通園・通学をするうえで困っていることは、「特にない」(62.5%)が6割超で最も高く、「通園・就学先が遠い」(20.5%)がほぼ2割、「通園・通学の付き添いの確保が難しい」(11.6%)が1割超で続いている。

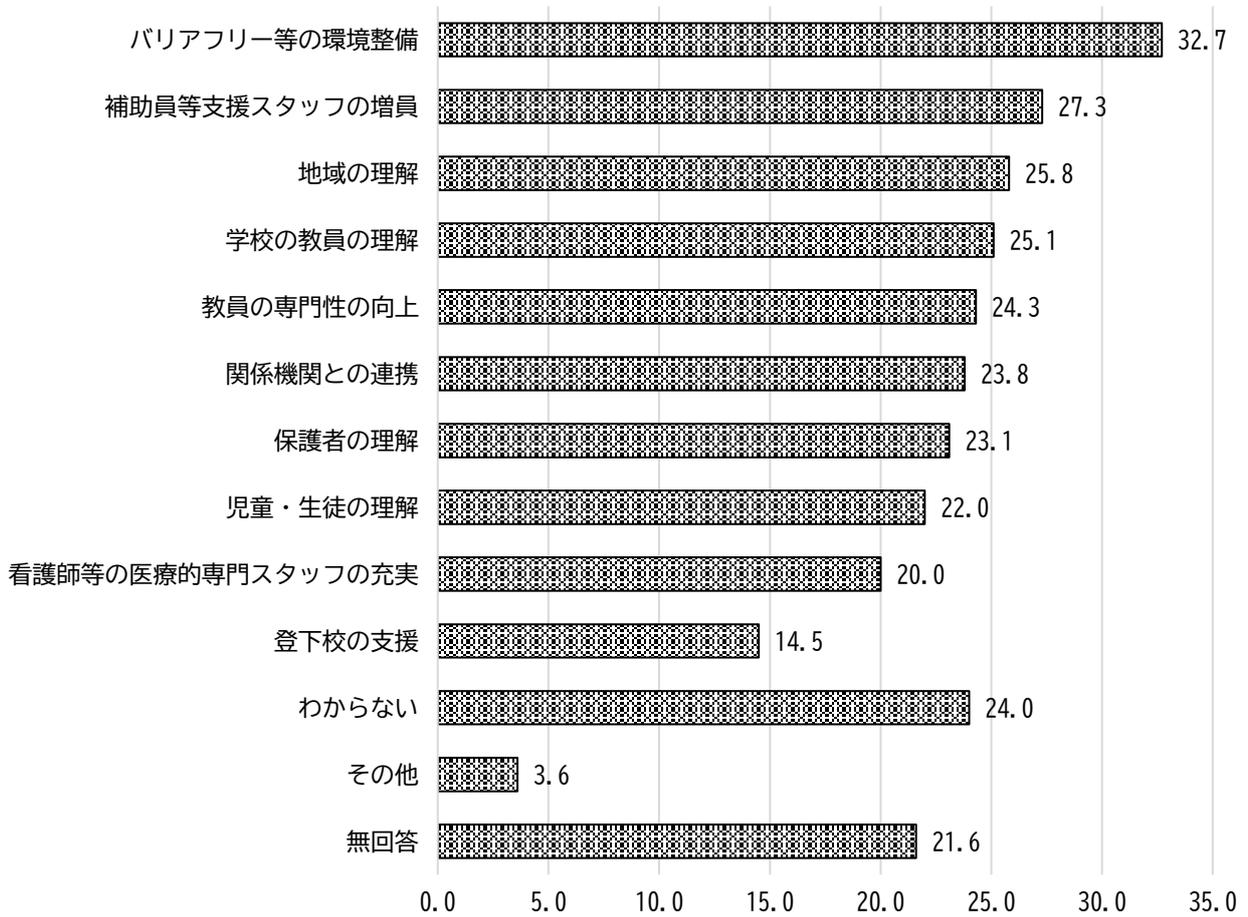
問15 あなたは現在通園・通学をするうえで困っていることはありますか？



(16) フルインクルーシブ教育を進めるために必要な事について

国立市でフルインクルーシブ教育を進めるために必要なことは、「バリアフリー等の環境整備」(32.7%)が3割超で最も高く、「補助員等支援スタッフの増員」(27.3%)が3割近く、「地域の理解」(25.8%)が2割半ばで続いている。

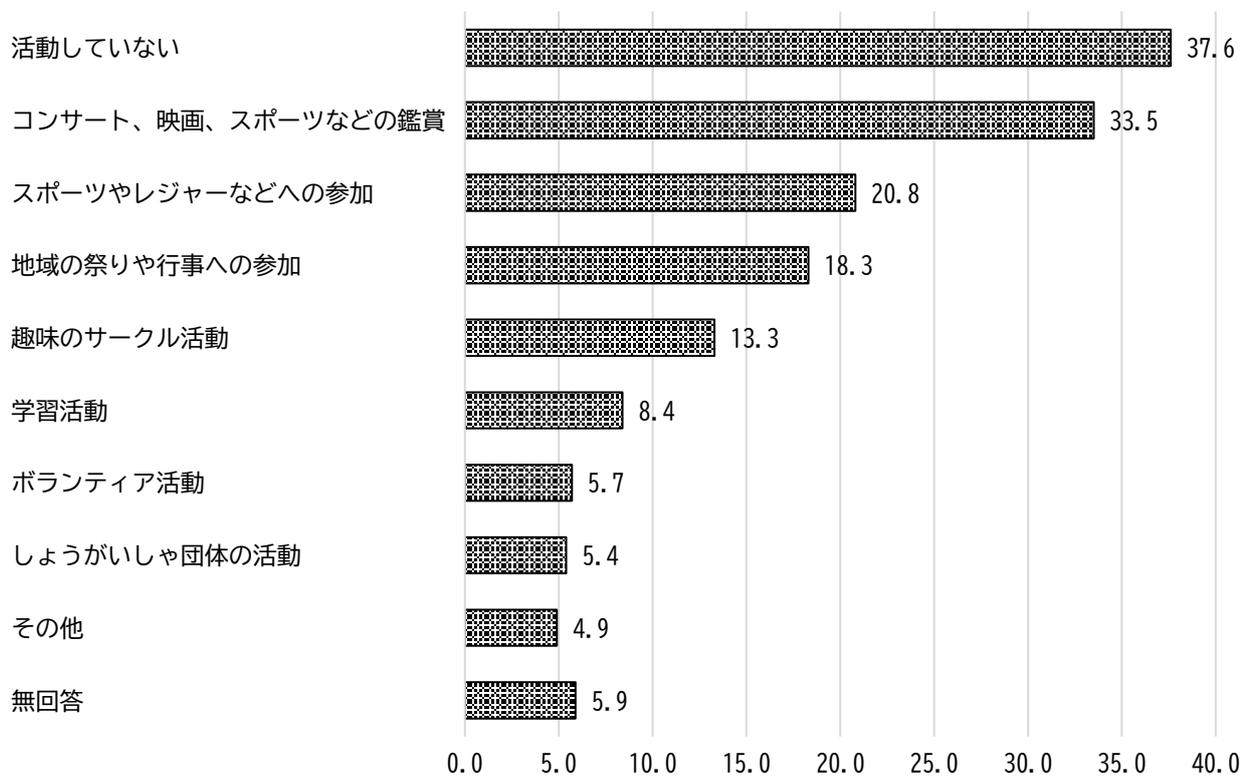
問16 あなたは、国立市でフルインクルーシブ教育を進めるためには、何が必要だと思いますか？



(17) 参加した余暇活動や社会参加について

1年間に参加した余暇活動や社会参加は、「活動していない」(37.6%)が4割近くで最も高く、「コンサート、映画、スポーツなどの鑑賞」(33.5%)が3割超、「スポーツやレジャーなどへの参加」(20.8%)がほぼ2割で続いている。

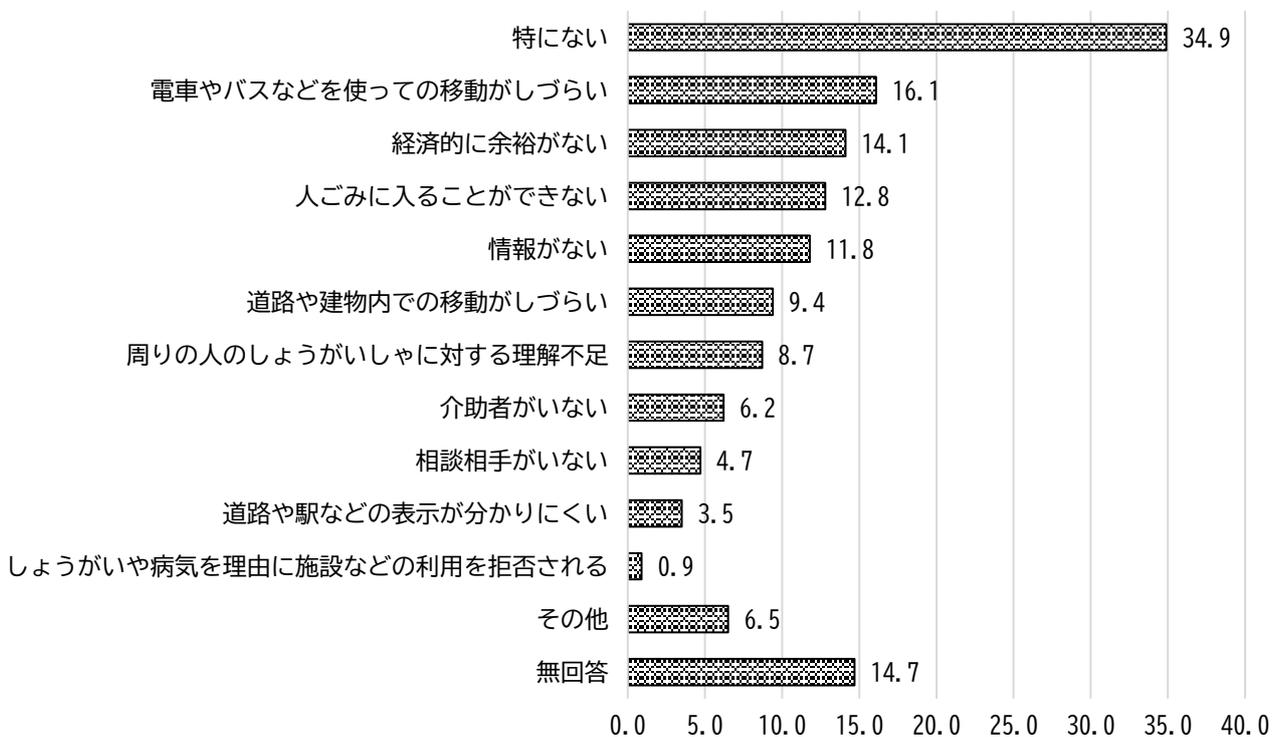
問17 あなたは、この1年間にどのような余暇活動や社会参加をしましたか？



(18) 余暇活動や社会参加をするうえで、特に妨げになっていることについて

余暇活動や社会参加をするうえで、特に妨げになっていることは、「特にない」(34.9%)が3割半ばで最も高く、「電車やバスなどを使っての移動がしづらい」(16.1%)が1割半ば、「経済的に余裕がない」(14.1%)が1割半ばで続いている。

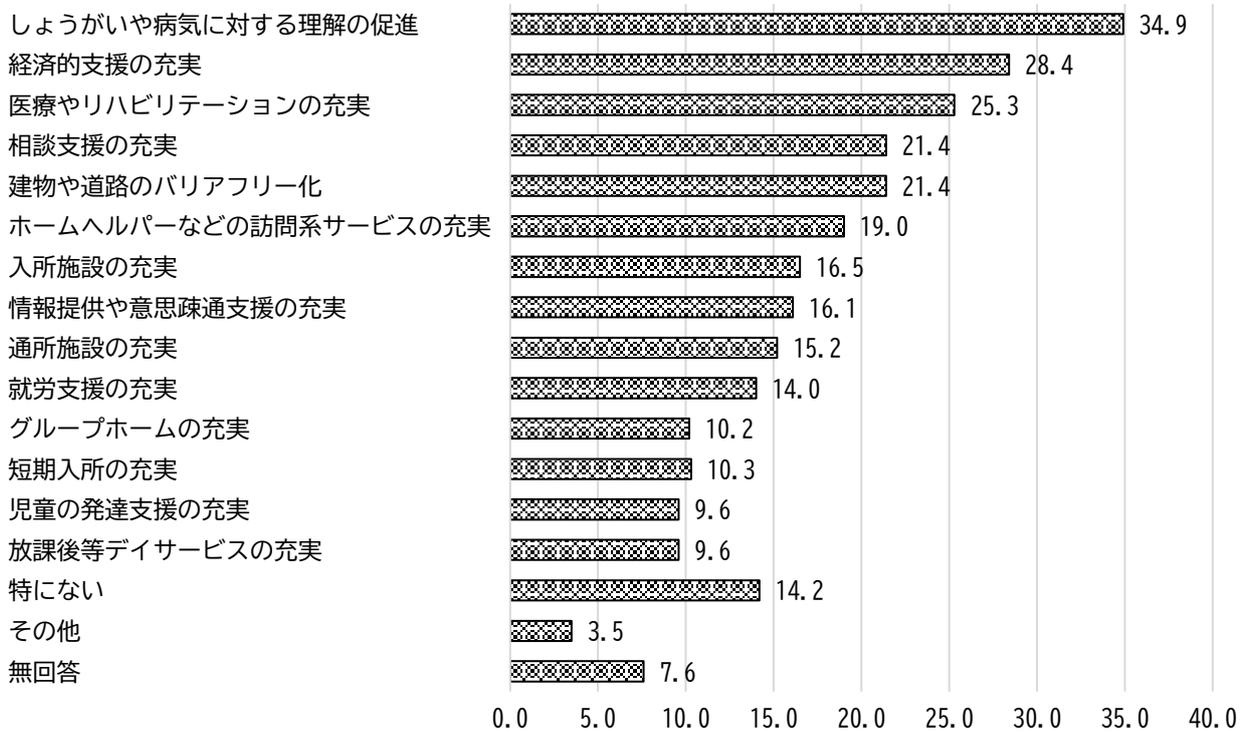
問18 あなたが余暇活動や社会参加をするうえで、特に妨げになっていることはありますか？



(19) 地域で安心して暮らしていくために重要な事について

地域で安心して暮らしていくために重要なことは、「しょうがいや病気に対する理解の促進」(34.9%)が3割半ばで最も高く、「経済的支援の充実」(28.4%)が3割近く、「医療やリハビリテーションの充実」(25.3%)が2割半ばで続いている。

問19 地域で安心して暮らしていくためには、
どのようなことが重要ですか？



(20) 生活環境について

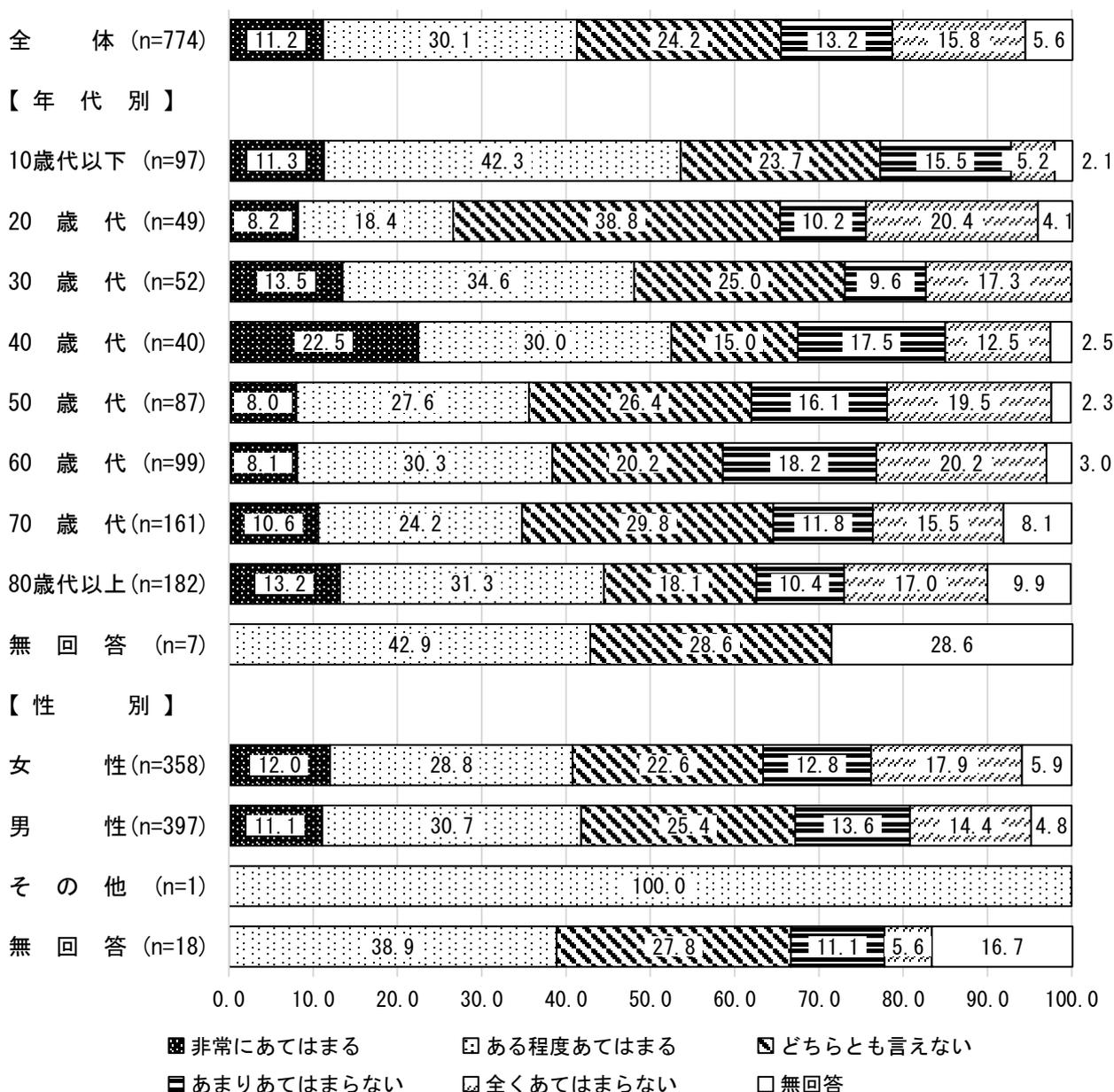
(20) - 1 困ったときに相談できる人が身近にいるかについて

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を併せた『あてはまる』(41.3%)が4割超で、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を併せた『あてはまらない』(29.0%)より12.3ポイント高い。

年代別でみると、『あてはまる』は、40歳代(52.5%)が5割超で最も高く、30歳代(48.1%)が5割近く、80歳代以上(44.5%)が4割半ばで続いている。

性別でみると、『あてはまる』は、女性(40.8%)がほぼ4割、男性(41.8%)が4割超で、男女間で大きな差はみられない。

問20 生活環境についてお伺いします。
あなたの暮らしている地域には、
困ったときに相談できる人が身近にいますか



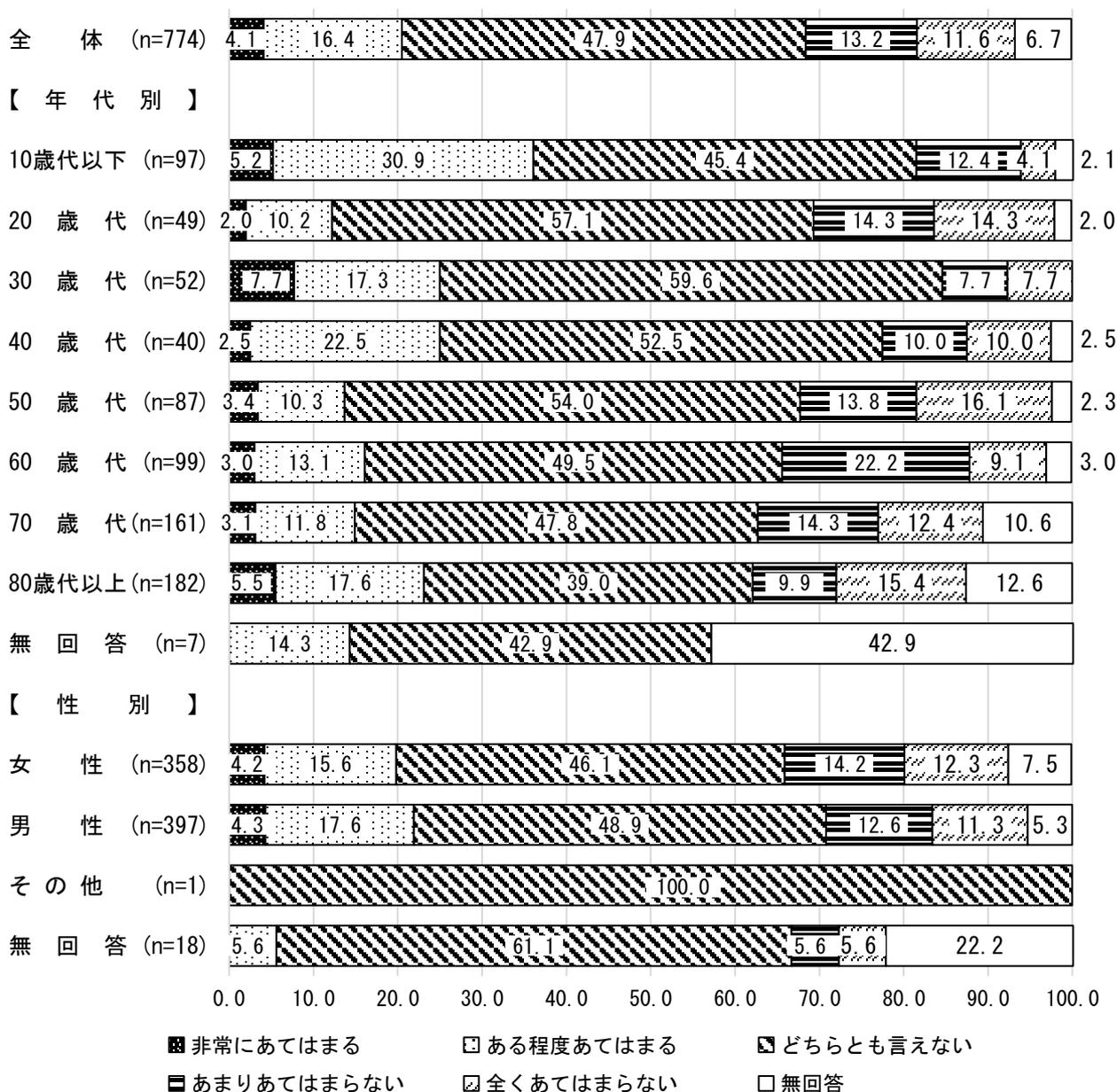
(20) - 2 どんな人の意見でも受け入れる雰囲気があるかについて

「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を併せた『あてはまらない』(24.8%)が2割半ば、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を併せた『あてはまる』(20.5%)より5.6ポイント高い。

年代別でみると、『あてはまる』は、30歳代(25.0%)が2割半ばで最も高く、40歳代(25.0%)が2割半ば、80歳代以上(23.1%)が2割超で続いている。

性別でみると、『あてはまる』は、男性(21.9%)が2割超、女性(19.8%)が2割で、男女間で大きな差はみられない。

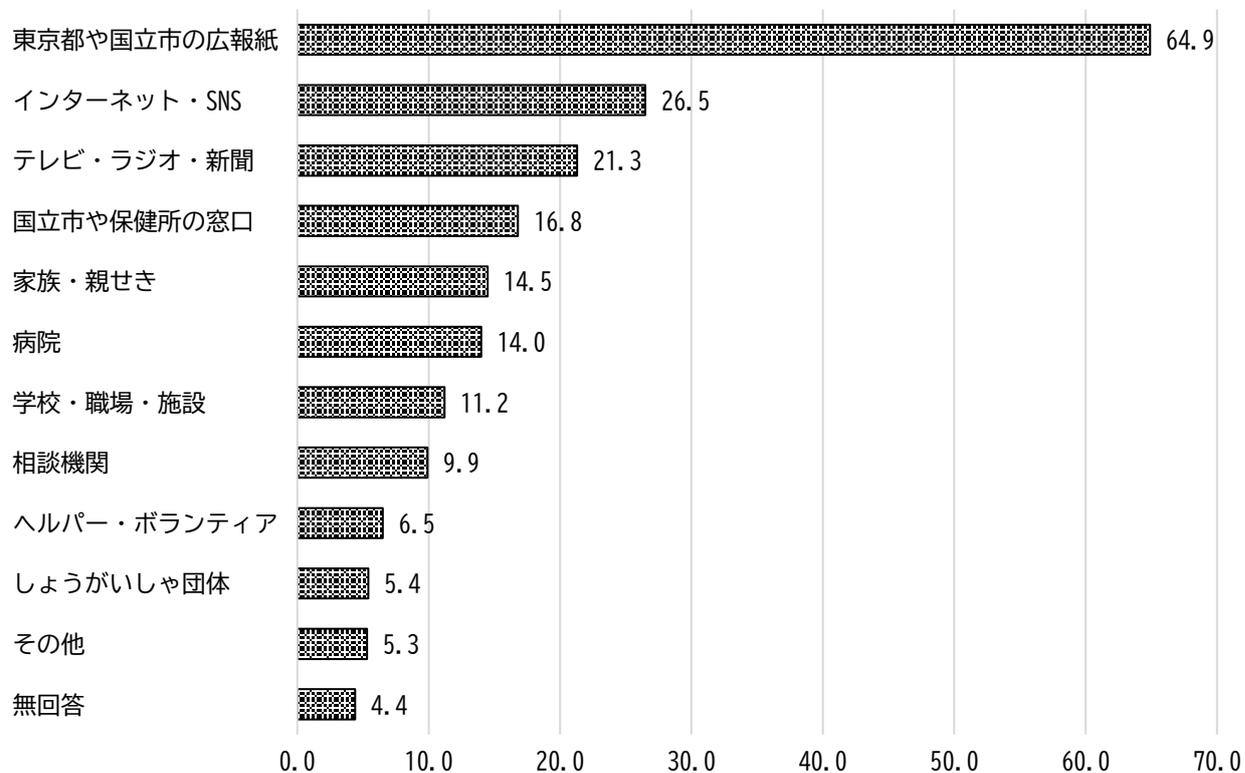
問20 生活環境についてお伺いします。
あなたの暮らしている地域には、
どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がありますか



(21) 福祉関連の情報の入手方法について

福祉関連の情報はどこから入手しているかは、「東京都や国立市の広報紙」(64.9%)が6割半ばで最も高く、「インターネット・SNS」(26.5%)が3割近く、「テレビ・ラジオ・新聞」(21.3%)が2割超で続いている。

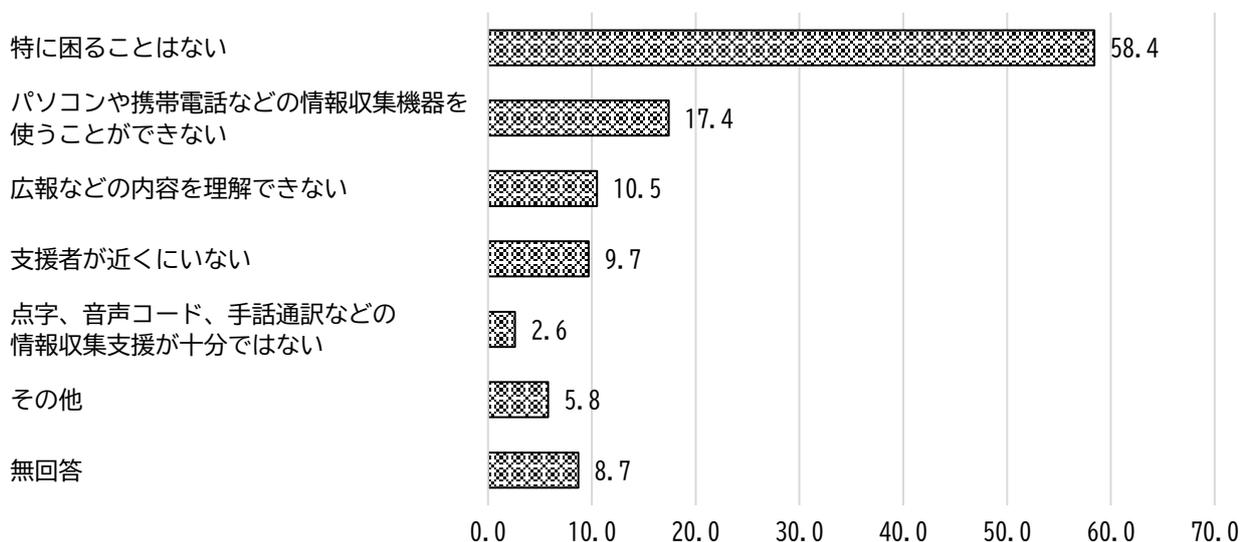
問21 福祉関連の情報はどこから入手していますか？



(22) 国立市から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることについて

国立市から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは、「特に困ることはない」(58.4%)が6割近くで最も高く、「パソコンや携帯電話などの情報収集機器を使うことができない」(17.4%)が2割近く、「広報などの内容を理解できない」(10.5%)がほぼ1割で続いている。

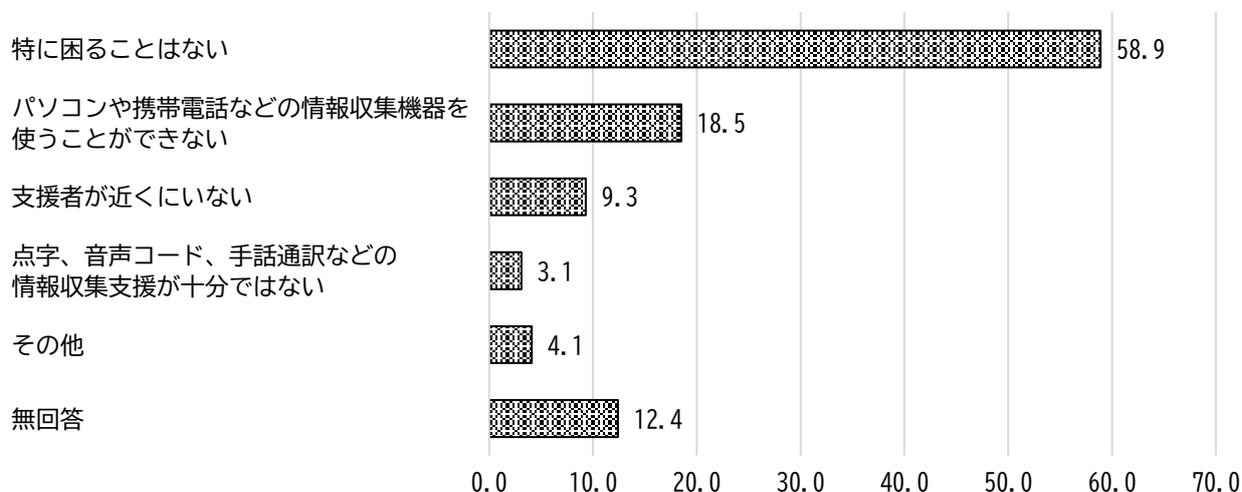
問22 国立市から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは何ですか？



(23) 国立市以外から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることについて

国立市以外から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは、「特に困ることはない」(58.9%)が6割近くで最も高く、「パソコンや携帯電話などの情報収集機器を使うことができない」(18.5%)が2割近く、「支援者が近くにいない」(9.3%)がほぼ1割で続いている。

問23 国立市以外から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは何ですか？



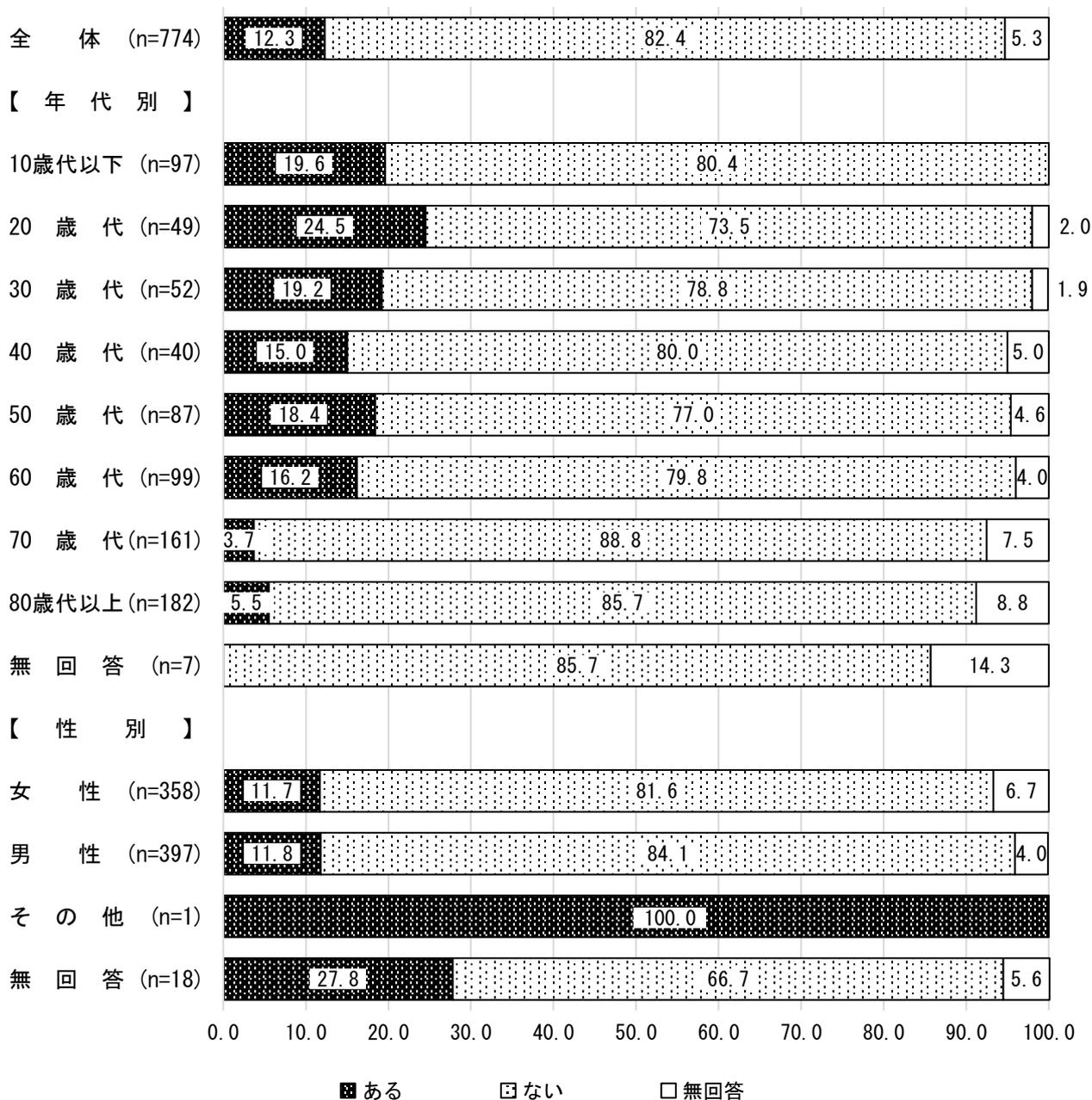
(24) 不当な差別を受けた経験について

しょうがいや病気を理由に不当な差別を受けたと感じたことは、「ない」(82.4%)が8割超で、1割超のある(12.3%)より70.1ポイント高い。

年代別でみると、「ある」は、20歳代(24.5%)が2割半ばで最も高く、10歳代以下(19.6%)が2割、30歳代(19.2%)がほぼ2割で続いている。

性別でみると、「ある」は、男性(11.8%)、女性(11.7%)ともに1割超で、男女間でほとんど差はみられない。

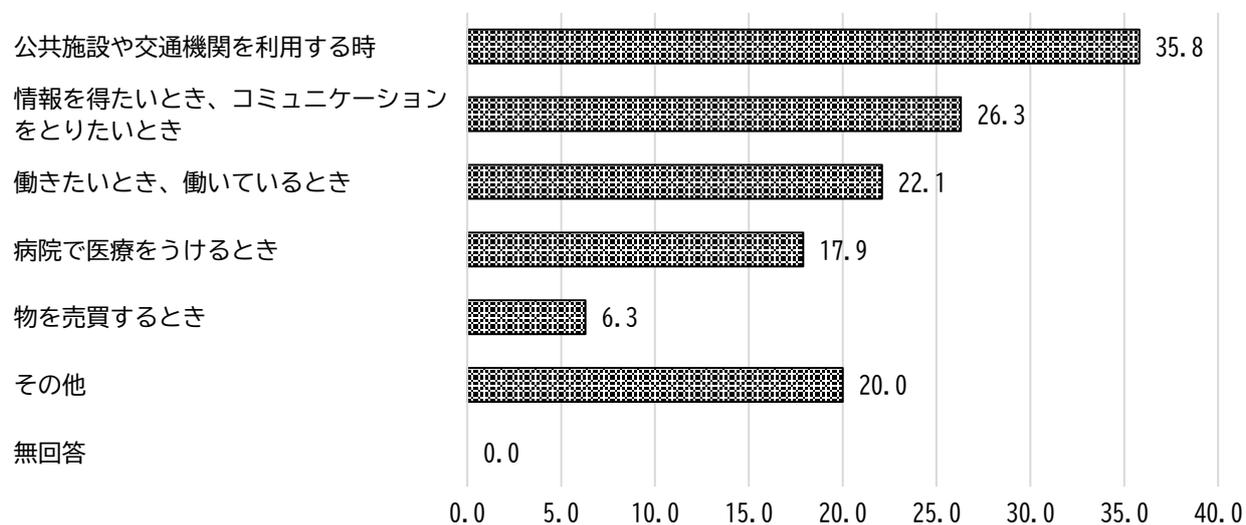
問24 あなたは、過去1年間にしょうがいや病気を理由に不当な差別を受けたと感じたことはありますか？



(25) どのような時に差別を受けたと感じるかについて

どのような時に差別を受けたと感じたかは、「公共施設や交通機関を利用する時」(35.8%)が3割半ばで最も高く、「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」(26.3%)が2割半ば、「働きたいとき、働いているとき」(22.1%)が2割超で続いている。

問25 あなたはどのような時に差別を受けたと感じますか？



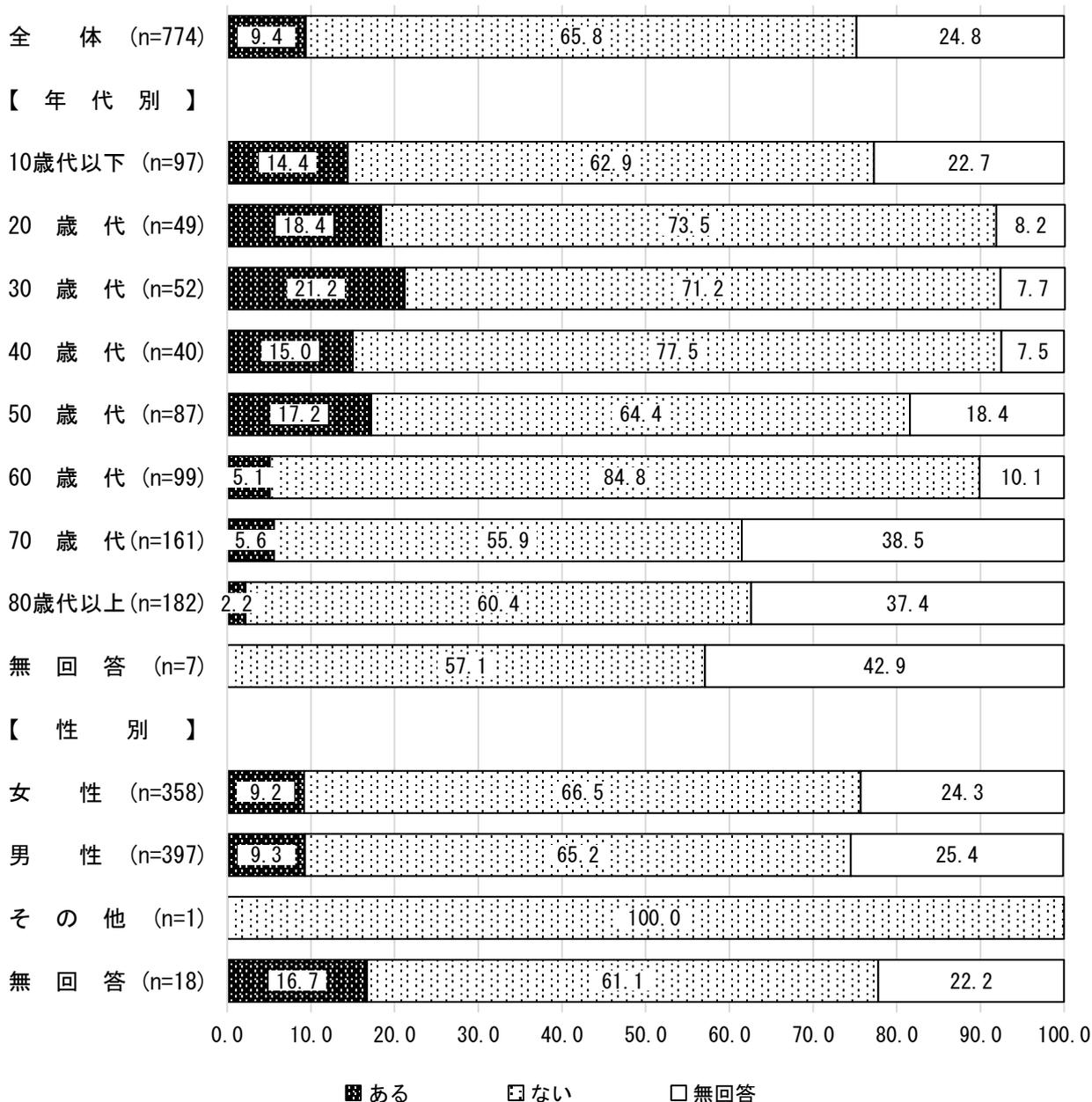
(26) 差別に関する相談経験について

差別を受けた時に相談をしたことがあるかは、「ない」(65.8%)が6割半ばで、ほぼ1割の「ある」(9.4%)より56.4ポイント高い。

年代別でみると、「ある」は、30歳代(21.2%)が2割超で最も高く、20歳代(18.4%)が2割近く、50歳代(17.2%)が2割近くで続いている。

性別でみると、「ある」は、男性(9.3%)がほぼ1割、女性(9.2%)がほぼ1割で、男女間で大きな差はみられない。

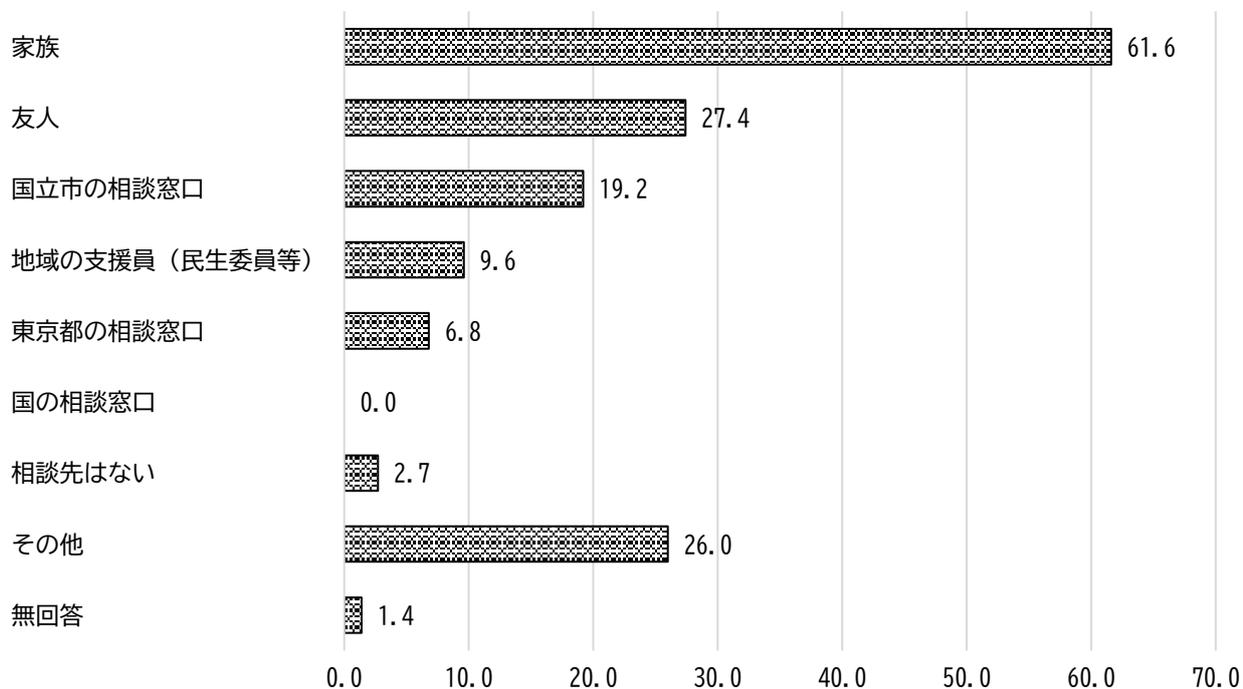
問26 あなたは、差別を受けた時に相談をした事がありますか？



(27) 相談場所について

どこに相談したかは、家族（61.6%）が6割超で最も高く、友人（27.4%）が3割近く、その他（26.0%）が2割半ばで続いている。

問27 どこに相談しましたか？



Ⅲ 調査票

くにたちし けいかくさくてい じったいちょうさ 国立市しょうがいしゃ計画策定にかかる実態調査

ちょうさ ちやうさについてのご案内

①調査は無記名です。結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

②調査対象として、国立市在住のしょうがいのある方から無作為に抽出しています。

③封筒の宛名の方ご本人による記入が難しい場合には普段のご本人のご様子が分かる方（ご家族・介助者の方など）が代わりに回答してください。

※お手伝いが必要な場合には、国立市役所しょうがいしゃ支援課までお気軽にご連絡ください。

電話：042-576-2121（直通 平日 午前8時30分～午後5時）

ファックス：042-573-1102

メール：sec_shogaishien@city.kunitachi.lg.jp

ホームページ：<https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept03/Div02/Sec02/oshirase/9810.html>



メールアドレス QR コード



ホームページ QR コード

（※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

かいとうほうほう 【回答方法】

ゆう ぽう
郵 送

ちょうさひょう ちやくごきり いただき、どうふうのへんしんゆうふうふう（きってふよう）に入れ、10月31日（火）までに郵便ポストへ投函してください。封筒には、住所・氏名などの記載は不要です。

あてな かた
宛名の方についておうかがいします。

F 1. ご記入される方はどなたですか。あなた（封筒の宛名の方）との続柄をお答えください。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. ご本人 | 2. ご本人の家族 |
| 3. 家族以外の介助者・支援者 | 4. その他() |

F 2. あなたのお住まいの地区についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|------|--------------|
| 1. 北 | 2. 東 | 3. 富士見台1~2丁目 |
| 4. 富士見台 3~4 丁目 | 5. 中 | 6. 西 |
| 7. 谷保 | 8. 泉 | 9. 青柳 |
| 10. 矢川・石田 | | |

F 3. あなたの年齢についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 | 4. 40~49歳 | 5. 50~59歳 |
| 6. 60~64歳 | 7. 65~69歳 | 8. 70~74歳 | 9. 75~79歳 | 10. 80歳以上 |

F 4. あなたの性別についておたずねします。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他() | 4. 無回答 |
|-------|-------|-----------|--------|

F 5. あなたのご職業をおたずねします。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------------|--------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 |
| 4. 自由業 | 5. パート・アルバイト | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() | |

F 6. あなたは、国立市に何年くらい住んでいますか？(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上~5年未満 | 3. 5年以上~10年未満 |
| 4. 10年以上~20年未満 | 5. 20年以上~30年未満 | 6. 30年以上 |

F 7. あなたの現在の生活の場所の形態をおたずねします。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------------------|-------------|
| 1. 持ち家(戸建て) | 2. 持ち家(分譲マンション
など集合住宅) | 3. 民間の賃貸住宅 |
| 4. 公営・公社賃貸住宅 | 5. UR賃貸住宅 | 6. 間借り・住み込み |
| 7. グループホーム | 8. 施設 | 9. 病院 |
| 10. その他() | | |

F 8. 同居している方はいますか？(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F9. あなたは「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか？もしくは、「高次脳機能しょうがい」「発達しょうがい」「難病」「医療的ケア」がありますか？
 (あてはまるものすべてに○をし、しょうがいの等級や各部位の等級それぞれについても○をしてください)

1. 身体障害者手帳 総合等級：(1級 2級 3級 4級 5級 6級)
 障害の部位

視覚	1級	2級	3級	4級	5級	6級
聴覚平衡	2級	3級	4級	5級	6級	
音声言語	3級	4級				
肢体不自由	1級	2級	3級	4級	5級	6級
内部障害	1級	2級	3級	4級		

2. 愛の手帳 (程度： 1度 2度 3度 4度)
 3. 精神障害者保健福祉手帳 (等級： 1級 2級 3級)
 4. 高次脳機能しょうがいがある
 5. 発達しょうがいがある
 6. 難病がある
 7. 医療的ケアがある

ケアの種類

- | |
|-----------------------------|
| 1. 導尿 (尿道への留置カテーテル、自己導尿を含む) |
| 2. 経管栄養 (経鼻チューブ・胃ろう・腸ろう) |
| 3. 酸素療法の管理 |
| 4. 吸引 (鼻腔や口腔・気管内) |
| 5. 吸入 (医療用のネブライザー) |
| 6. 人工呼吸器の管理 |
| 7. 気管切開部の衛生管理 |
| 8. ストマの管理 (消化器系または尿路系) |
| 9. 人工透析 (血液透析または腹膜透析) |

8. その他 ()

問1 あなたはしょうがい福祉のサービスを利用していますか？（○は1つだけ）

1. 利用していない	2. 利用している
------------	-----------

問2 あなたはどのようなしょうがい福祉のサービスを利用していますか？

または、今後利用したいしょうがい福祉のサービスはありますか？（○はいくつでも）

サービス名	利用している	今後利用したい
(記入例) 居宅介護	○	
居宅介護		
重度訪問介護		
同行援護		
行動援護		
療養介護		
生活介護		
短期入所（ショートステイ）		
障害児入所支援		
児童発達支援		
医療型児童発達支援		
保育所等訪問支援		
放課後等デイサービス		
施設入所支援		
地域移行支援		
地域定着支援		
就労移行支援		
就労継続支援A型		
就労継続支援B型		
自立訓練（機能訓練）		
自立訓練（生活訓練）		
自立生活援助		
宿泊自立訓練		
就労定着支援		

サービス名	利用している	今後利用したい
(記入例) 居宅介護	○	
計画相談支援		
居宅訪問型児童発達支援		
医療型障害児入所支援		
共同生活援助（グループホーム）		
補装具費支給事業		
移動支援事業		
地域活動支援センター（なびい、棕櫚亭Ⅰ等）		
地域参加型介護サポート事業		
日常生活用具給付事業		
住宅設備改善事業		
訪問入浴サービス事業		
緊急通報システム事業		
自動車運転免許教習助成事業		
自動車改造費助成事業		
福祉タクシー券事業		
ガソリン費助成事業		
リフトカー運行事業（おぞら号）		
手話通訳派遣事業		
緊急入所事業（滝乃川学園）		
精神しょうがいしゃショートステイ事業（櫻の杜）		
日中一時支援（たまりば宙）		
就労支援事業		
就業・生活支援センター（オープナー、けるん、TALANT等）		
相談支援事業		

問3 あなたの暮らしている地域の生活環境についてお伺いします。
(それぞれ○は1つだけ)

	5 非常に あてはまる	4 ある 程度あて はまる	3 どちら とも言 えない	2 あまり あては まらない	1 全く あては まらない
記入例 ⇒	⑤	4	3	2	1
(1) あなたの暮らしている地域は、医療機関が充実していると思いますか	5	4	3	2	1
(2) あなたの暮らしている地域は、日常の買い物に不便はありますか	5	4	3	2	1
(3) あなたの暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実していると思いますか	5	4	3	2	1
(4) あなたの暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができますか	5	4	3	2	1
(5) あなたの暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がありますか	5	4	3	2	1
(6) 自分だけではなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思いますか	5	4	3	2	1
(7) あなたの住んでいるところには、心地よい居場所がありますか	5	4	3	2	1
(8) あなたの暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよいと思いますか	5	4	3	2	1

問4 現在、あなたはどの程度幸と感じていますか？

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

(○は1つだけ)

とても不幸					とても幸せ					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問5 幸福度を考える際に重要視したことを選んでください。(○はいくつでも)

1. 家計の状況(所得・消費)	2. 就業状況(仕事の有無・安定)
3. 健康状況	4. 自由な時間
5. 充実した余暇	6. 仕事の充実度
7. 精神的なゆとり	8. 趣味・社会貢献などの生きがい
9. 家族関係	10. 友人関係
11. 職場の人間関係	12. 地域コミュニティとの関係
13. その他()	

問6 現在、あなたの生活している地域の暮らしにどの程度満足していますか？

「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

(○は1つだけ)

とても不満足					とても満足					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問7 あなたは今後どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

1. ひとりで暮らしたい	2. 家族・親族と一緒に暮らしたい
3. 友人・知人と一緒に暮らしたい	4. 施設で暮らしたい
5. わからない	6. その他()

問8 あなたは災害時の対策をどのように立てていますか。(○はいくつでも)

1. 避難場所を確認している	2. 家族と避難方法を決めている
3. 近所の人に災害時の手助けを頼んでいる	4. 食料や水などの防災用品を用意している
5. 必要な薬、補装具、医療器具などはすぐ持ち出せるように準備している	6. 家具に転倒防止の対策をしている
7. 年1回は避難訓練に参加している	8. 「避難行動要支援者登録名簿」に登録している
9. 「ヘルプカード」を活用している	10. 特に対策は立てていない
11. その他()	

問9 あなたは現在働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正規の職員・従業員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 自宅で働いている(自営業、家業の手伝いなど)
4. 福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援事業所など)
5. 以前働いていたが、現在は働いていない
6. 働いていない

問10 (問9で1～4と回答された方に問きます。)

最近1ヶ月の間に働いた日数と、1日あたりの就業時間を教えてください。

(数字を記入)

- ① 1ヶ月の間に働いた日数 _____ 日
- ② 1日あたりの就業時間 _____ 時間

問11 (問9で1～4と回答された方に問きます。)

働くために必要なことは何ですか？(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 心身の健康状態の維持、向上 | 2. 就労に結び付く技術や知識の習得 |
| 3. 働くうえでの決まり事の習得 | 4. 就労活動に必要な情報の提供 |
| 5. しょうがいや病気の特性にあった多様な仕事や就労形態 | 6. 職場における施設面での整備 |
| 7. しょうがいや病気に対する職場の理解や協力 | 8. 職場における健康管理や人事管理などの相談支援体制 |
| 9. 体調を考慮した勤務時間、休憩、休暇などへの配慮 | 10. 通院や服薬管理など医療上の配慮 |
| 11. 就労を続けるための家族への支援 | 12. 通勤手段の確保 |
| 13. 自分自身の意欲 | 14. 特にない |
| 15. その他 () | |

問 12 (問9で5～6と回答された方に聞きします。)

あなたは今後働きたいと思っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 13 (問9で5～6と回答された方に聞きします。)

現在、働いていない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. しょうがいや病気などのため | 2. 体力的に不安があるため |
| 3. 給料・工賃等が低く、割に合わないため | 4. 自分に適した仕事がないため |
| 5. 会社の倒産や人員整理などで解雇されたため | 6. 家庭の事情のため |
| 7. 高齢のため | 8. 通勤に負担がかかるため |
| 9. 人間関係がうまくいかなかったため | 10. 事業がうまくいかなかったため |
| 11. 勤務条件に不満があるため | 12. 職業訓練施設で技能習得中のため |
| 13. 受け入れ先がないため | 14. 仕事への意欲がないため |
| 15. 仕事をする自信がないため | 16. 偏見や差別的な扱いを受けたため |
| 17. 就学しているため | 18. その他() |

問 14 あなたは現在通園・通学をしていますか？(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問 15 (問14で1と回答された方に聞きします。)

あなたは現在通園・通学をするうえで困っていることはありますか？(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 通園・就学先が遠い |
| 2. 通園・通学の付き添いの確保が難しい |
| 3. 送迎の手段がない |
| 4. 特にない |
| 5. その他() |

問 16 あなたは、国立市でフルインクルーシブ教育を進めるためには、何が必要だと思いますか？

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. バリアフリー等の環境整備 | 2. 保護者の理解 |
| 3. 地域の理解 | 4. 児童・生徒の理解 |
| 5. 学校の教員の理解 | 6. 教員の専門性の向上 |
| 7. 看護師等の医療的専門スタッフの充実 | 8. 補助員等支援スタッフの増員 |
| 9. 登下校の支援 | 10. 関係機関との連携 |
| 11. わからない | 12. その他() |

問17 あなたは、この1年間にどのような余暇活動や社会参加をしましたか？（〇はいくつでも）

1. コンサート、映画、スポーツなどの鑑賞
2. スポーツやレジャーなどへの参加
3. 地域の祭りや行事への参加
4. 学習活動
5. 趣味のサークル活動
6. ボランティア活動
7. しょうがいしゃ団体の活動
8. 活動していない
9. その他（ ）

問18 あなたが余暇活動や社会参加をするうえで、特に妨げになっていることはありますか？（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 道路や駅などの表示が分かりにくい | 2. 道路や建物内での移動がしづらい |
| 3. 電車やバスなどを使つての移動がしづらい | 4. 介助者がいない |
| 5. 情報がない | 6. 周りの人のしょうがいしゃに対する理解不足 |
| 7. しょうがいや病気を理由に施設などの利用を拒否される | 8. 相談相手がない |
| 9. 人ごみに入ることができない | 10. 経済的に余裕がない |
| 11. 特にない | 12. その他（ ） |

問19 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要ですか？（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. しょうがいや病気に対する理解の促進 | 2. 通所施設の充実 |
| 3. 入所施設の充実 | 4. グループホームの充実 |
| 5. ホームヘルパーなどの訪問系サービスの充実 | 6. 短期入所の充実 |
| 7. 医療やリハビリテーションの充実 | 8. 児童の発達支援の充実 |
| 9. 放課後等デイサービスの充実 | 10. 相談支援の充実 |
| 11. 就労支援の充実 | 12. 情報提供や意思疎通支援の充実 |
| 13. 建物や道路のバリアフリー化 | 14. 経済的支援の充実 |
| 15. 特にない | 16. その他（ ） |

問 20 生活環境についてお伺いします。(それぞれ○は1つだけ)

	5 非常に あてはまる	4 ある程度 あてはまる	3 どちらとも 言えない	2 あまりあては まらない	1 全くあては まらない
記入例 ⇒	⑤	4	3	2	1
(1) あなたの暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいますか	5	4	3	2	1
(2) あなたの暮らしている地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がありますか	5	4	3	2	1

問 21 福祉関連の情報はどこから入手していますか？(○はいくつでも)

1. 東京都や国立市の広報紙	2. 学校・職場・施設
3. テレビ・ラジオ・新聞	4. インターネット・SNS
5. 病院	6. しょうがいしゃ団体
7. 家族・親せき	8. 国立市や保健所の窓口
9. 相談機関	10. ヘルパー・ボランティア
11. その他 ()	

問 22 国立市から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは何ですか？

(○はいくつでも)

1. 広報などの内容を理解できない
2. 点字、音声コード、手話通訳などの情報収集支援が十分ではない
3. パソコンや携帯電話などの情報収集機器を使うことができない
4. 支援者が近くにいない
5. 特に困ることはない
6. その他 ()

問 23 国立市以外から生活に必要な情報を集めようとするときに困ることは何ですか？

(○はいくつでも)

1. 点字、音声コード、手話通訳などの情報収集支援が十分ではない
2. パソコンや携帯電話などの情報収集器機を使うことができない
3. 支援者が近くにいない
4. 特に困ることはない
5. その他 ()

問 24 あなたは、過去1年間にしょうがいや病気を理由に不当な差別を受けたと感じたことはありますか？ (○は1つだけ)

1. ある
2. ない

問 25 あなたはどのような時に差別を受けたと感じますか？ (○はいくつでも)

1. 公共施設や交通機関を利用する時
2. 情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき
3. 物を売買するとき
4. 病院で医療をうけるとき
5. 働きたいとき、働いているとき
6. その他 ()

問 26 あなたは、差別を受けた時に相談をした事がありますか？ (○は1つだけ)

1. ある
2. ない

問 27 (問 26 で1と回答された方に聞きます。)

どこに相談しましたか？ (○はいくつでも)

1. 国の相談窓口
2. 東京都の相談窓口
3. 国立市の相談窓口
4. 家族
5. 地域の支援員 (民生委員等)
6. 友人
7. 相談先はない
8. その他 ()

問 28 その他、^た国立市の^{くにもちし}福祉政策^{ふくしせいさく}に対しての^{たい}ご意見・^{いけん}ご要望^{ぼうぼう}がございましたらご回答^{かいとう}ください。

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

この調査票^{ちようひひょう}を同封^{どうふう}の返信用封筒^{へんしんようふうとう}に入れ、令和5年10月31日^{れいわ ねん がつ にち か}(火)までにポストへ投函^{とうかん}をお願い致します。^{した}(切手^{きって}は不要^{ひよう}です)

国立市しょうがいしゃ計画策定に係る実態調査 報告書

令和6年3月

- 発行 国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課
東京都国立市富士見台2丁目47番地の1
電話 042 (576) 2121 (直通)
- 調査実施 株式会社ケー・デー・シー
東京都港区虎ノ門4丁目2番地12号
電話 03 (5733) 5111 (代表)